

### Ⅲ 埼玉県「性に関する指導」授業研究会

#### 【小学校部会】

令和7年10月31日（金） 入間市立高倉小学校  
第4学年「体の発育・発達」 (イ) 思春期の体の変化  
教 諭 田中 絢子

#### 【中学校部会】

令和7年10月22日（水） 熊谷市立熊谷東中学校  
第1学年「心身の機能の発達と心の健康」  
(イ) 生殖に関わる機能の成熟  
教 諭 今成 友美  
外部講師 山崎 麻子

#### 【高等学校部会】

令和7年11月17日（月） 県立三郷高等学校  
第2学年「生涯を通じる健康」 (ア) 生涯の各段階における健康  
① 結婚生活と健康  
養護教諭 宮尾 仁美  
教 諭 大澤 詳平

## (小学校部会)

### 令和7年度埼玉県「性に関する指導」(保健教育) 授業研究会開催要項

#### 1 趣 旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらに関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科(保健体育科)の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

#### 2 主 催 埼玉県教育委員会

#### 3 期 日 令和7年10月31日(金)

#### 4 会 場 入間市立高倉小学校(入間市高倉4-14-7)

#### 5 参加者 (1) 入間市立小・中学校、県内特別支援学校(小学部設置)の教職員(教諭、養護教諭、保健主事等)

※入間市立小・中学校においては各学校1名参加してください。

#### (2) 西部教育事務所管内(入間地区)市町教育委員会の指導主事等

#### 6 日 程

		場所
(1) 受 付	13時10分～	( 昇降口 )
(2) 公開授業	13時30分～14時15分	( 4年2組教室 )
(3) 全体会	14時30分～14時45分	( 図書室 )
(4) 研究協議	14時45分～16時20分	( 図書室 )

#### 7 公開授業

学年	授業者	単元名
4年	教諭 田中 絢子	(2) 体の発育・発達 (イ) 思春期の体の変化

#### 8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	教育指導幹	佐藤 泰弘
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主 幹	西川 俊成
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	佐野 秀行
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	箱田 健一
埼玉県教育局西部教育事務所	指導主事	伊藤 将瑛
入間市教育委員会学校教育課	指導主事	松尾 貴史

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

埼玉大学教育学部長	委員長	長	戸部 秀之
飯能市立奥武蔵中学校校長	副委員長	長	芦川 恵美
本庄市教育委員会指導主事	委員	員	塩澤美保子
川口市立前川小学校主幹教諭	委員	員	江口 竜太

9 参加について

- ・上履きと下足入れをお持ちください。
- ・来校する際には、以下の方法をお願いします。
- ・お車でお越しの際は、敷地内の校庭（バスケットゴール付近）に駐車してください。
- ・会場校に来校する際には、以下を参照ください。

※地図は省略しています。

## (2) 体の発育・発達

## (イ) 思春期の体の変化

### 1 指導内容の系統性

中学校では、生殖にかかわる機能の成熟に伴う変化に対応した適切な行動について学習する。その前段階としての小学校段階は、体の発育・発達について、思春期の体の外に現れる変化や体の中に起こる変化、その個人差などを学習し、自分のこととして実感し、肯定的に受け止めることが大切であることに気付かせるよう配慮する。

### 2 指導内容の明確化

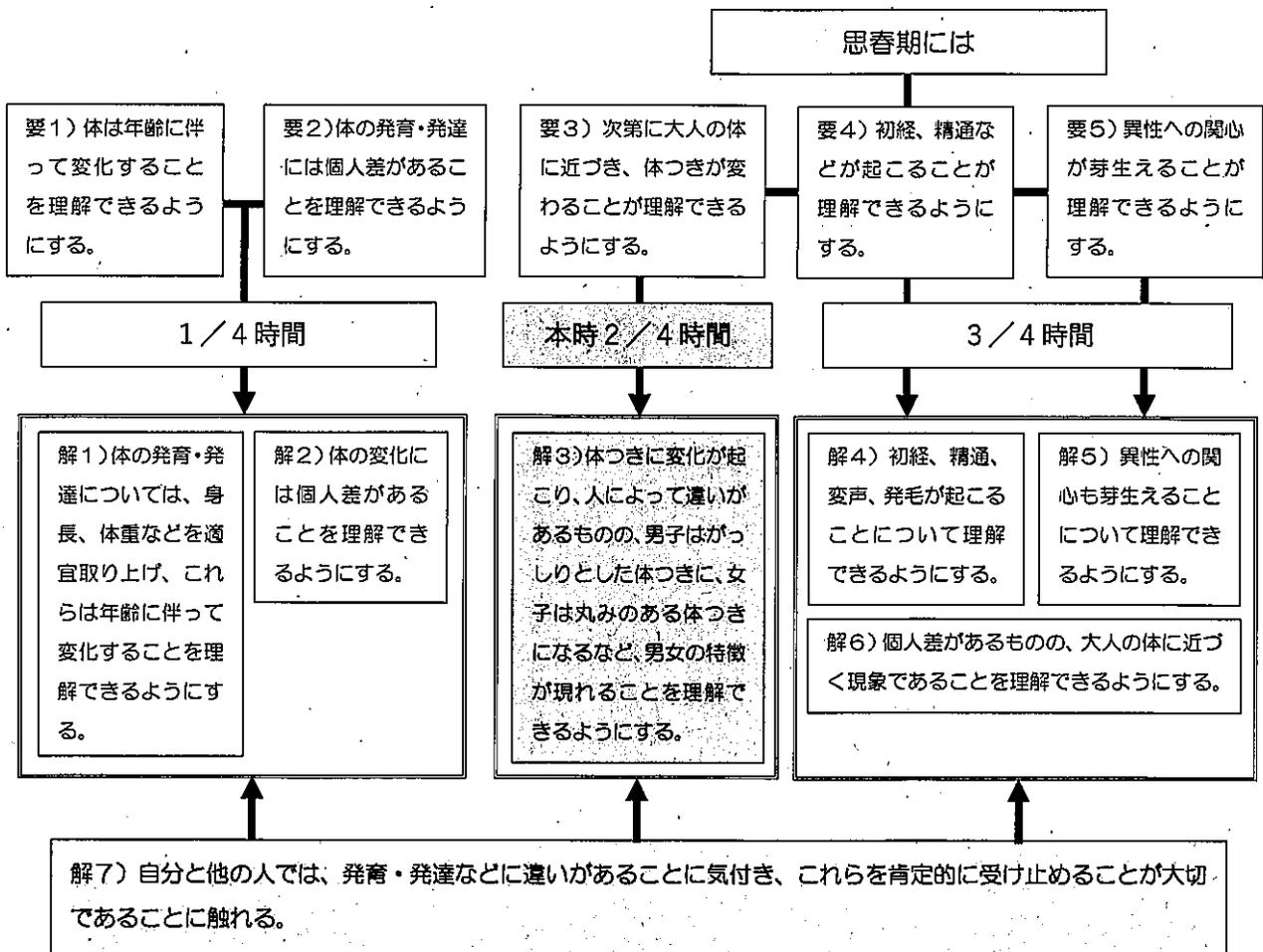
#### ア 知識及び技能

##### (イ) 思春期の体の変化

要)：学習指導要領  
解)：同解説  
の内容を示します。

指導に当たっては、

- ①発達段階を踏まえること
  - ②学校全体で共通理解を図ること
  - ③保護者の理解を得ること
- などに配慮することが大切である。



### 3 知識を活用した学習

第2時は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わり、変声や発毛などの変化が表れることを理解できるようになることをねらいとしている。学習の際には、自分事として捉え、知識を習得することの必要感をもたせることが大切である。

#### 【導入】

##### 〈体つきクイズ〉

赤ちゃん、子供、大人のシルエット写真を順に示して大人になるにつれて変化が分かりやすくなることに気付かせる。また、「なぜ、男女の体つきの変化について学習するのか」を問い、課題を焦点化する。

##### 〈本時の課題〉

思春期に起こる体の変化を知り、自分たちの体を大切にする方法を考えよう。

#### 【展開1】（習得①）

##### 〈思春期の体に表れる変化の予想〉 ICT

学習教材「オクリンク」でカードを操作し、男女の体つきにそれぞれどのような変化が起こるかを予想する。（個人）

Q 下の語句から当てはまるものを選び、□の中に入れてみましょう。



##### 〈思春期の体つきの変化の確認〉

モニターにカードを映し、体つきの変化について確認をする。その際に、人によって個人差があることをおさえる。（全体）

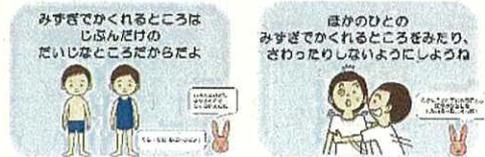
##### 〈指導すべき内容〉

- 思春期の体つきの変化には、男女差、個人差があること。
- 思春期には、体つきのほかにも変声や発毛などの変化が表れること。

##### 〈生命の安全教育動画教材

##### 「じぶんだけのたいせつなところ」視聴〉

変化してくる体についての知識をもとに、プライベートゾーンに関する動画を視聴し、知識をより深められるようにする。



#### 【まとめ】（習得②）

- 思春期に起こる体の変化は、男子はがっしりした体つきになり、女子は丸みのある体つきになる。
- 思春期に起こる体の変化には、個人差がある。

#### 【展開2】（活用①）

##### 〈ケーススタディ〉

- ①「時間がないから」と言って、周りの目を気にせずに教室で服を脱いで着替え始めるAさんがいた。
- ②自分の体が友達よりも発達していることに気づき、発育測定や内科検診などを嫌うBさんがいた。
- ③友達のをべたべたと触るCさんがいる。

1つのグループにつき、無作為で選んだ1つのケーススタディに取り組む。

Aさん、Bさん、Cさんのためになる言葉かけをグループで考える。

全体で共有する。

評価【思考・判断・表現】（観察・ワークシート）

体の発育・発達について身長や体重など年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見つけている。【思考・判断・表現】

# 第4学年2組 体育科（保健領域）学習指導案

令和7年10月31日（金）第5校時 4年2組教室

指導者 教諭 田中 絢子

## 1 単元名 (2) 体の発育・発達 (イ) 思春期の体の変化

### 2 単元について

本単元は、体の発育・発達について、一般的な現象や思春期の体の変化などについて理解できるようにすること、体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方について理解できるようにすること、体の発育・発達に関する課題を見付け、よりよい解決に向けて考え、それを表現できるようにすることをねらいとしている。

思春期を迎えるこの時期の児童にとっては、体つき等の変化に対して関心が高い。しかし、体つき等の変化には個人差がある。そのため、性に関してもつ悩みは一人一人異なってくる。これから迎える変化に対して、正しい知識を身に付けた上で向き合い、付き合っていくために、本単元の学習は非常に重要なものとなる。

### 3 児童の実態

#### (1) 知識及び技能

(掲載省略)

#### (2) 思考力、判断力、表現力等

(掲載省略)

#### (3) 学びに向かう力、人間性等

(掲載省略)

【保健授業前アンケート】 (男子10名 女子10名 計20名)

<p>質問1 保健の学習は好きですか。</p>	<p>好き 10人</p>	<p>どちらかという好き 9人</p>	<p>どちらかというきらい 1人</p>	<p>きらい 0人</p>
	<p>理由：体に良いことや良くないことを知れるから 体のことについて知れるから</p>		<p>理由：自分の生活を振り返るのが難しいから</p>	
<p>質問2 健康は大切だと思いますか。</p>	<p>はい 20人 理由：健康でないと病気になってしまうから 好きなことをしたり、勉強をしたりできなくなってしまふから 命に関わるかもしれないから</p>		<p>いいえ 0人 理由：なし</p>	
<p>質問3 大人と子どもの体はどのような所がちがうと思いますか。</p>	<p>回答：体の大きさ、手の大きさ、食べる量、体力、歯の数</p>			
<p>質問4 男の子と女の子の体はどのような所がちがうと思いますか。</p>	<p>回答：声のトーン、体のやわらかさ、髪型、力、のど骨のつくり、プライベートゾーン（股）、赤ちゃんを産む</p>			
<p>質問5 自分の体が大人に近づいているなと感じることはありますか。</p>	<p>はい 15人 回答：身長が伸びたとき 子供の歯が大人の歯になったとき 成長痛になったとき</p>		<p>いいえ 5人 回答：大人に近づいているとあまり感じない 着替えのとき</p>	
<p>質問6 体の変化について恥ずかしいと思いますか。</p>	<p>はい 2人 理由：子供なのにちょっと大人の体型になるから</p>		<p>いいえ 18人 理由：成長することは良いことだから 大人になるために必要なことだから みんな同じだから 自然に変化するから</p>	
<p>質問7 異性の友だちと話すとき、はずかしくなることはありますか。</p>	<p>はい 0人 理由：なし</p>		<p>いいえ 20人 理由：友達だから 話すと楽しいから みんなと仲良くなるのは良いことだから</p>	
<p>質問8 異性の友だちにちょっかいを出しておこられたことはありますか。</p>	<p>はい 3人</p>		<p>いいえ 17人</p>	
<p>質問9 自分の体について学習することは大切だと思いますか。</p>	<p>はい 20人 理由：病気にかかるのを少しでも防げるから 働きについて大切なことがたくさんあるから 自分の今の体のことを知ることができるから 自分の体を知ることは大切だし、異性との違いも知らなければいけないから</p>		<p>いいえ 0人 理由：なし</p>	
<p>質問10 保健の学習で知りたいことはありますか。</p>	<p>回答：男の子の体と女の子の体はどうして違うのか。 生まれてから身長が何cm伸びたのか。 女の子の体の仕組みがどうなっているのか。 自分の生活が良いのか悪いのか。</p>			

## 4 教師の指導観

### (1) 知識及び技能

本単元では、年齢や思春期に伴う体の変化、発達について重点を置いて指導していく。児童は、「健康でいることの大切さ」はよく理解している。また、規則正しい生活の大切さについても身に付いてきているように感じる。しかし、自分の体や発達について理解している児童は少ないため、自分や相手の体に現れる「変化」を知識として確実に身に付けさせる。また、児童自身に発達に関しての実感がないため、本単元での学習により知識が先行することになる。その際、本学習を自分ごととして捉えて学ぶことができるように、以下の手立てを講じる。

#### 〈手立て ICT を活用した教材の工夫〉

##### ・生命の安全教育の動画教材の活用

生命の安全教育の動画教材「じぶんだけのたいせつなところ」（2分30秒）を活用してプライベートゾーンについて知り、自分の体は大切にすべきだという意識をもたせる。映像と合わせて正しい知識を取り入れることで、児童が体の発達についてイメージしやすくなる。また、自分の体にまだ発達が見られない分、映像を示して視覚化することで今後起こりうる体と心の発達や事象への対応の仕方を考えられるようにする。

##### ・オクリンクプラスの活用

タブレットを活用し、実際に作業を取り入れながら知識の習得を目指す。知識のない状態で体に現れる変化をまとめようとしても、難しい児童もいる。そのため、穴埋め問題形式や解答を移動させることのできるデータを作成し、全員が取り組めるようにする。また、色分けやグループ分けもできるようにすることで、考えの整理や比較もしやすくなり、男女の差や個人差についても触れながら学習できる。

### (2) 思考力、判断力、表現力等

本単元は、男女の体のしくみや発達に関する学習であるため、グループワークを行う際に「自分たちの体について」話し合わせることは知識を身に付けさせた上で行う。そのため、授業の前段で知識を習得するために「知る」学習や「みる」学習を中心に行い、後段では、習得した知識を「探求」し、日常生活で「活用」できるようにしていく。児童一人一人が本時の課題の解決方法について考え、自分の考えをもって学び合える学習の充実を図る。具体的には、以下の手立てを講じる。

#### 〈手立て 自分の考えを表現し、活用していくための学習活動の工夫〉

##### ・グループ別ケーススタディの実践

日常生活で起こりそうな場面を設定し、自分の気持ちや相手の立場に立った発言や対応などについて考える。架空の人物を想定することで、学習者の率直な気持ちや考えを引き出せるようにする。また、グループごとに1枚のケースシートを配ることで、個人の意見ではなくグループとしての意見として発表しやすくさせる。グループごとにケーステーマを分けることで、限られた時間の中で様々なケースでの対応について共有できる。前段で習得した知識をそれぞれのグループが活用し、思考の末に多様な解決方法が生み出されることが期待できる。

##### ・自分ごととして捉えやすくするための問い返し

単元を通して「どうして、〇〇を学ぶの?」「知らないとどうなるの?」という学習の意味を問う問い返しを、教師側から行う。それにより、自分の体の変化や学習内容に対しても「恥ずかしい」という感情を薄め、「大切な学習である」という意識付けがしやすくなる。また、繰り返し問い返すことで児童の思考に迫り、自分の考えをもつ児童が増えていくよう指導していく。

(3) 学びに向かう力、人間性等

単元を通して、児童が自分の発達に関して不安を感じないように、「個人差がある」ということと「誰にでも関わる大切なこと」ということを肯定的に捉えて指導にあたる。また、事前に行ったアンケートをもとにそれぞれが抱えている思いを紹介、共有、考えることで発達を身近に感じ、恥じらいをもたずに学習に向かわせる。児童がもつ「〇〇について知りたい!」という主体性を大切に、抑えるべきところと繋げていくような指導を目指す。

また、体の発育や発達について考えることは、自分自身の体とその成長を大切にしようとする態度を育成することにも繋がる。自分の体を大切にすることは相手の体を大切にすることにも繋がるため、思春期の体の変化について肯定的に受け止めることのできる児童を育てていく。

〈手立て 自己や他者に対しての肯定的な雰囲気を生み出すための工夫〉

・導入のゲーム化

毎時間の導入で、ゲーム感覚で取り組めるクイズなどを取り入れる。それにより、児童の緊張感が和らぎ、発言しやすくなる空間ができる。また、客観的な視点と自己の視点を織り交ぜた導入にすることで、考えの幅も広がる。学習の中で児童が安心して学ぶことができるよう、常に温かい雰囲気での学習することを教師自身も心掛けていく。

5 単元の目標

- (1) 年齢に伴う変化と個人差、思春期の体の変化、体をよりよく発育・発達させるための生活について理解することができるようにする。 〈知識及び技能〉
- (2) 体の発育・発達について、課題を見付け、その解決に向けて考え、それを表現することができるようにする。 〈思考力、判断力、表現力等〉
- (3) 体の発育・発達について、健康の大切さに気付き、自己の健康の保持増進に進んで取り組もうとすることができるようにする。 〈学びに向かう力、人間性等〉

6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①身長や体重など年齢に伴う体の変化と個人差について、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②思春期には、体つきに変化が起こり、人によって違いがあるものの、男女の特徴が現れることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>③思春期には、初経、精通、変声、発毛が起こり、異性への関心も芽生えること、これらは、個人差があるものの、大人の体に近づく現象であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>④体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠などが必要であることについて理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>①体の発育・発達について身長や体重など年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見付けている。</p> <p>②体の発育・発達について、自己の生活と比べたり、関連付けたりするなどして、体をよりよく発育・発達させるための方法を考えているとともに、考えたことを学習カードなどに書いたり、発表したりして友達に伝えている。</p>	<p>①体の発育・発達について、課題の解決に向けての話合いや発表などの学習や教科書や資料などを調べたり、自分の生活を振り返ったりするなどの学習に進んで取り組もうとしている。</p>

7 単元の指導と評価の計画（全4時間）本時は○印

時	学習のねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体は、年齢に伴って変化すること、また、体の発育・発達には、個人差があることを理解できるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 手形・足形・身長クイズをする。</li> <li>2 本時の課題を確認し、学習の見通しをもつ。</li> <li>3 1年生から4年生までの身長の伸びグラフを作り、自分の発育量を知る。</li> <li>4 友達と比較して気づきを共有する。</li> <li>5 発育・発達について知る。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身長や体重は、年齢に伴って変化すること。</li> <li>・体が発育する時期や変化する量には、個人差があること。</li> </ul> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>6 本時の学習のまとめをする。</li> <li>7 ケーススタディをする。</li> <li>8 本時の学習の振り返りをする。</li> </ol>	①			観察 ワークシート
②	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体は、思春期になると次第に大人の体に近づき、体つきが変わり、変声や発毛などの変化が現れることを理解できるようにする。</li> <li>・体の発育・発達について年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化から課題を見付けることができるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 体つきクイズをする。</li> <li>2 本時の課題を確認し、学習の見通しをもつ。</li> <li>3 思春期について確認する。</li> <li>4 思春期の体に表れる変化を予想する。</li> <li>5 思春期に起こる体つきの変化について知る。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期の体つきの変化には、男女差、個人差があること。</li> <li>・思春期には、体つきのほかにも変声や発毛などの変化が表れること。</li> </ul> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>6 本時の学習のまとめをする。</li> <li>7 自分たちの体を大切にする方法をグループで考える。（ケーススタディ）</li> <li>8 グループの考えを共有する。</li> <li>9 自分たちの体を大切にする方法をまとめる。</li> <li>10 本時の学習の振り返りをする。</li> </ol>	②	①	①	観察 ワークシート

3	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・初経、精通などが起こる時期には個人差があること、また、思春期には異性などほかの人への関心が芽生えることを理解できるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 インタビューを読み、体の中の変化について考える。</li> <li>2 本時の課題を確認し、学習の見通しをもつ。</li> <li>3 体の中に起こる変化について知る。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期には、初経、精通が起こること。</li> <li>・思春期に起こる体の中の変化には、個人差があるものの、大人の体に近づく現象であること。</li> </ul> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 心の変化について知る。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・思春期には、異性への関心も芽生えること。</li> </ul> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>5 本時の学習のまとめをする。</li> <li>6 ケーススタディをする。</li> <li>7 本時の学習の振り返りをする。</li> </ol>	③		観察 ワークシート
4	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体をよりよく発育・発達させるには、適切な運動、食事、休養および睡眠が必要であることを理解できるようにする。</li> <li>・体の発育・発達について、自己の生活と比べたり、関連付けたりするなどして、体をよりよく発育・発達させるための方法を考え、伝えられるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 運動・食事・睡眠が大切な理由を考える。</li> <li>2 本時の課題を確認し、学習の見通しをもつ。</li> <li>3 運動・食事・睡眠の3つのグループに分け、それらが成長にもたらす効果について考える。</li> <li>4 グループごとの考えを全体で共有する。</li> <li>5 本時の学習のまとめをする。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体をよりよく発育・発達させるための生活の仕方には、体の発育・発達によい運動、バランスのとれた食事、適切な休養及び睡眠が必要であること。</li> </ul> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>6 運動の取り組み動画を視聴する。</li> <li>7 本時の学習の振り返りをする。</li> </ol>	④	②	観察 ワークシート



6 本時の学習のまとめをする。

知識のまとめ

・体つきに変化がおこり、人によって違いがあるものの、男子はがっしりした体つきに、女子は丸みのある体つきになるなど、男女の特徴が現れる。



7 自分たちの体を大切にする方法をグループで考える。

ケース

- ① 「時間がないから」と言って、周りの目を気にせずに教室で服を脱いで着替え始める A さんがいた。
- ② 自分の体が友達よりも発達していることに気づき、発育測定や内科検診などを嫌う B さんがいた。
- ③ 友達の体をパタパタと触る C さんがいる。

－ 自分たちの体を大切にするために －

- ① A さんのためになる言葉がけを考えよう。
- ② B さんのためになる言葉がけを考えよう。
- ③ C さんのためになる言葉がけを考えよう。

《予想される児童の反応》

- ・みんながいるから、着替えは更衣室でした方がいいよ。
- ・着替えるときは隠した方がいいよ。
- ・体の変化はみんなに起こることだから気にしなくていいんだよ。
- ・身長や体重にも個人差があるから大丈夫だよ。
- ・触られて嫌な人もいるから、触らない方がいいよ。
- ・体はとても大切だからむやみに触ってはいけないよ。



8 グループでの考えを共有する。

- 生命の安全教育の動画教材「じぶんだけのたいせつなところ」(2分30秒)を活用してプライベートゾーンについて知り、自分の体は大切にすべきだという意識をもてるようにする。
- グループごとに与えられたケーススタディについて考え、それぞれの場合に合った方法について考える。

◆体の発育・発達について身長や体重など年齢に伴う体の変化や思春期の体の変化、体の発育・発達に関わる生活の仕方から課題を見つけている。

(観察・ワークシート)【思考・判断・表現】

△「努力を要する」状況(C)と判断される児童への指導の手立て

・これまでの学習内容を、板書や生命の安全教育資料の掲示を用いて振り返らせ、考えられるようにする。

◎「十分満足できる」状況(A)と判断される児童の具体的な姿

・その場の対処法だけでなく、今後同じことが起きないようにする予防の視点も考え、伝えている。

○全体で共有する際に、自分のグループとは違うケースに対する考えを知ること、それぞれの立場や場合でできることについて学べるようにする。

9 自分たちの体を大切にする方法をまとめる。

自分たちの体を大切にする方法のまとめ

- ① 体の変化には、個人差があるが誰にでも起こること。だから自分の成長を大切にしていく。
- ② 自分の気持ちと相手の気持ちを尊重しながら、行動していくことが大切。

○自分たちの体を守るのは自分たちであることを抑え、今後の成長を受け止め、大切にしていこうとをまとめられるようにする。

10 本時の学習の振り返りをする。

○本時の学習を通して、これから生かしていきたいことやさらに知りたいことなどを書けるよう助言する。

展開  
②  
18  
分

まとめ  
7  
分

9 板書計画

思春期にあらわれる変化

① 思春期に起こる体の変化を知り、自分たちの体を大切にする方法を考えよう。

★思春期…子どもから大人へ体の変化があらわれる時期

○思春期の体にあらわれる変化を考えよう！

Q 下の語句から当てはまるものを選び、□の中に入れてみましょう。

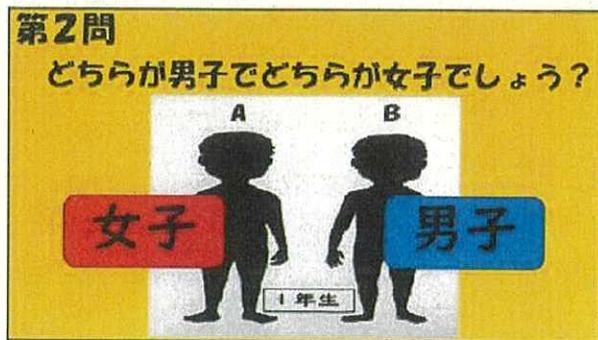


② 思春期に起こる体の変化は、男子はがっしりした体つきになり、女子は丸みのある体つきになる。変化には、個人差がある。

ケーススタディ

10 本時の資料

〈体つきクイズ パワーポイント資料〉



どうして大人になると、「体つき」の変化が分かりやすいのだろう？

どうして男子と女子で「ちがいが」出てくるのだろう？

どうして「男女の体の成長」について学習するのだろう？



Q 下の語句から当てはまるものを選び、□の中に入れてみましょう。

**女子** ●女子特有の変化

- 胸
- こし回り

**男女共通の変化**

- わきの下や性器の周りに、□が生えてくる。(発毛)

※女子も少し声が低くなりますが、男子ほど目立ちません。  
※発毛がほとんど見られない人や、多い人もいます。

**男子** ●男子特有の変化

- が生えてくる。(発毛)
- かたはば
- 声 □ (変声)

体つきの変化には □ がある。

□ のある 体つきになる。

□ とした 体つきになる。

ひげ がっしり ふくらんでくる 毛 低くなる 丸み 広くなる 大きくなる 個人差

〈ワークシート〉

思春期にあらわれる変化

4年 組 名前( )

① 思春期に起こる体の変化は、

② 思春期に起こる体の変化を知り、自分たちの体を大切にする方法を考えよう。

○3つのケースから考えよう!

自分たちの体を大切にする方法は・・・

③

★思春期とは…

( )から( )へ ( )があらわれる時期

○思春期の体にあらわれる変化を考えよう!(オクリンクプラス)

Q 下の語句から当てはまるものを選び、□の中に入れてみましょう。

**女子** ●女子特有の変化

- 胸
- こし回り

**男女共通の変化**

- わきの下や性器の周りに、□が生えてくる。(発毛)

※女子も少し声が低くなりますが、男子ほど目立ちません。  
※発毛がほとんど見られない人や、多い人もいます。

**男子** ●男子特有の変化

- が生えてくる。(発毛)
- かたはば
- 声 □ (変声)

体つきの変化には □ がある。

□ のある 体つきになる。

□ とした 体つきになる。

ひげ がっしり ふくらんでくる 毛 低くなる 丸み 広くなる 大きくなる 個人差

〈ケーススタディ〉

○こんなとき、どうしたらいいだろう？

「時間がないから!」と言って、周りの目を気にせずに教室で服をぬいで着がえ始める A さんがいた。

☆A さんのためになる言葉がけを考えよう!

( ) 班の考え

○こんなとき、どうしたらいいだろう？

自分の体が友達よりも発達していることに気づき、発育そく定や内科検診などをきらう B さんがいた。

☆B くんのためになる言葉がけを考えよう!

( ) 班の考え

○こんなとき、どうしたらいいだろう？

友達の体をペタペタとさわる C さんがいる。

☆C さんのためになる言葉がけを考えよう!

( ) 班の考え

**2. 思春期にあられる変化**

① 大人に近づくと、男女の体つきのちがいはどうなるのか調べよう。

② 思春期にあられる体の変化について調べよう。

**まとめ** ①の中に言葉を入れて、まとめよう。

- 思春期には、体つきなどの**変化**とともに、声が変わる**変化**や**体毛**などがあらわれます。変化の仕方や変化のあらわれる**時期**には、**個人差**があります。
- 自分の体の変化に気づいたとき、どう思うか予想してみよう。（このあたりは、いろいろな意見がでました。）

わたしは、自分の体が大変な  
ことだと思いましたが、  
大人に近づくと、体つきが  
かわるので、たいしたことはない。

女子  
1年生は男子の3割くらいで、1年生になると、  
身長が伸びて、胸がはたくようになった。  
大人は、髪が伸びる、声が変わる、  
体毛が伸びる、  
男子  
1年生は女子の3割くらいで、1年生になると、  
身長が伸びて、胸がはたくようになった。  
大人は、髪が伸びる、声が変わる、  
体毛が伸びる、

11 児童の振り返り（授業後）

自分たちの体を大切にすることは...

- 自分の体にさわっていいことは、  
やらない
- 成長には個人差があるから、  
心配したり他の人にばかりはか  
り過ぎない。
- はずかしい所は見せないように

③ 体の成長を知って、男女のちがいが、  
男子と女子がきかえる時、4年生に  
なってから分けるのは、体が成長し  
ているからなんだと思いました。

自分たちの体を大切にすることは...

見せてはいけない体の部分は見せないよ  
うにしたり、見せてはいけない部分はさ  
わられないようにしたりする。

- ① 成長には個人差があることを知る。
- ② 自分の気持ちと相手の気持ちを考えた  
行動をする。

③ 思春期に起こる体の変化は大人に近づ  
くと、ということがわかった。  
プールに入るときに水着を着る理由は前か  
ら知っていたけれど、  
理由を知ることができた。発達があるから  
早くても心配することはない。

## (中学校部会)

### 令和7年度埼玉県「性に関する指導」(保健教育) 授業研究会開催要項

#### 1 趣 旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらに関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科(保健体育科)の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

#### 2 主 催 埼玉県教育委員会

#### 3 期 日 令和7年10月22日(水)

#### 4 会 場 熊谷市立熊谷東中学校(熊谷市上之3177)

- 5 参加者 (1) 県内公立小・中学校、義務教育学校、特別支援学校(小・中学部設置)の教職員(教諭、養護教諭、保健主事等)  
※熊谷市立小・中学校においては、各学校1名参加してください。  
(2) 各市町村教育委員会の指導主事等

#### 6 日 程

		場所
(1) 受付	13時00分～	( 体育館1階 )
(2) 全体会	13時15分～13時35分	( 体育館2階 )
(3) 公開授業	13時40分～14時30分	( 体育館2階 )
(4) 研究協議	14時50分～16時20分	( 体育館2階 )

#### 7 公開授業

学年	授業者	単元名
1年	教 諭 今成 友美 外部講師 山崎 麻子	(2) 心身の機能の発達と心の健康 (イ) 生殖に関わる機能の成熟

#### 8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	教育指導幹	佐藤 泰弘
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	佐野 秀行
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	箱田 健一
埼玉県教育局北部教育事務所	指導主事	大嶋 一寿
熊谷市教育委員会教育総務課	指導主事	金井 大典
熊谷市教育委員会学校教育課	指導主事	鈴木 陽介

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

埼玉大学教育学部長	委員長	長	戸部 秀之
飯能市立奥武蔵中学校校長	副委員長	長	芦川 恵美
本庄市教育委員会指導主事	委員	員	塩澤美保子
入間市立高倉小学校教諭	委員	員	田中 絢子
川口市立前川小学校主幹教諭	委員	員	江口 竜太
加須市立加須東中学校教諭	委員	員	久保あかね
狭山市立狭山台中学校養護教諭	委員	員	寺井由佳子
県立進修館高等学校教諭	委員	員	梨本 雄太
県立三郷高等学校養護教諭	委員	員	宮尾 仁美
県立大宮工業高等学校養護教諭	委員	員	吉田 聡
県立越谷西特別支援学校養護教諭	委員	員	渡邊登志子

9 参加について

- ・上履きと下足入れをお持ちください。
- ・来校する際には、以下の方法をお願いします。
- ・お車でお越しの際は、指導者及び役員の方は本校正門から入り空いているスペースに駐車し、その他の方は本校北門（体育館側）から入り校庭に駐車してください。
- ・会場校に来校する際には、以下を参照ください。

熊谷市立熊谷東中学校ホームページ

【URL】

<https://kumagayahigashi-j.ed.jp>

【二次元コード】



※地図は省略しています。

## (2)心身の機能の発達と心の健康

## (イ)生殖に関わる機能の成熟

### 1 指導内容の系統性

小学校では体の発育・発達については、思春期には体つきの変化が現れ、初経、精通が起こる、異性への関心が芽生えることなどを学習している。また、年齢に伴う体の変化には個人差があることを学習している。

### 2 指導内容の明確化

ア 知識及び技能

イ 思考力、判断力、表現力等

要)：学習指導要領  
解)：同解説  
の内容を示します。

指導に当たっては、  
①発達段階を踏まえること  
②学校全体で共通理解を図ること  
③保護者の理解を得ること  
などに配慮することが大切である。

要1) 思春期には、

1/3時間

2/3時間

要2) 内分泌の働きによって生殖機能に関わる機能が成熟することが理解できるようにする。

要3) 成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要になることが理解できるようにする。

解1) 思春期には、下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きにより生殖器の発育とともに生殖機能が発達し、男子では射精、女子では月経が見られ、妊娠が可能となることを理解できるようにする。

解2) 身体的な成熟に伴う性的な発達に対応し、個人差はあるものの、性衝動が生じたり、異性への関心などが高まったりすることなどから、異性の尊重、性情報への対処など性に関する適切な態度や行動の選択が必要となることを理解できるようにする。

本時 3/3時間

要3) 思春期における性意識の変化と適切な行動選択や対処方法について理解し、適切な態度や行動についての方法を考え、それらを表現することができるようにする。

解3) 心身の機能の発達と心の健康に関わる事象や情報から課題を発見し、生活の質を高めたりすることなどに関連付けて、適切な態度や行動についての方法を考え選択し、道筋を立てて、それらを伝え合うことができるようにする。

### 3 知識を活用した学習 (3/3)

第1時では、小学校で得た知識を活用し、思春期には下垂体から分泌される性腺刺激ホルモンの働きによって生殖器の発育とともに生殖機能が発達することを学習した。第2時では、月経・射精の仕組み、受精や妊娠の関係性、それにより新しい生命を誕生させることが可能になることを学習した。異性の尊重、性情報への対処について関心を持ち、性に関する適切な態度や行動について理解させ、習得した知識を活用し、実践する力を身につけることができることを目指している。

#### 導入

前時までの学習内容（生殖機能の成熟）をKahoot!で振り返り、形成的な評価を行う。導入時に行うクロストーク（2分間）では、言語活動を充実させ、自分の思いや考えを言葉にし、相手に伝える力を身につけさせる。前時までに学習した、生殖機能の成熟の振り返りと、ふれあいサイコロゲームを体験し、本時の課題の解決策を考える。

**【本時の課題】** 思春期における性意識の変化に伴い、適切な行動選択をするにはどうすればよいだろうか？

#### 展開1

##### 習得①

性意識の変化について確認し、事前アンケート結果から性的欲求が強くなり、性衝動が生じることなど、性意識には個人差があることについて理解を深める。

##### 方法①

授業用スライドを用いて、性意識の変化について確認する。自分の体が大人に近づいていると感じている生徒がいることや、「性」への意識も非常に高いことに注目させる。

#### 展開2

##### 習得②

ふれあいサイコロゲームで、隣同士（異性）と自由な仲間同士（指定なし）のやりとりを行い、導入で行ったクロストークも活用しながら、深い学びに繋げる。

##### 方法②

ふれあいサイコロゲームを行った。出た目のふれあいをして良いか、相手に聞き、返事をする。ふれあいサイコロゲームを終えた後の率直な感想を具体的に記入し、発表する。

##### 評価【知識・技能】（観察、ワークシート）

性に関する適切な態度や行動について理解したことを言ったり、書いたりできる。

#### まとめ

##### 習得③

授業を通して学んだ知識を、自分事としてとらえられるようにする。最後のまとめでも、助産師から話をもらい、キーワードを黒板に掲示し、より深い学びにする。次時の学習につなげる。

##### 方法③

授業を通して学んだ知識を、今後の生活の中で生かすためには、どのような判断をし、行動をしたらいいのか考え、ワークシートにまとめる。感想をもとにクラス全体で共有する。

## 保健体育科（保健分野）学習指導案

令和7年10月22日（水）第5校時 体育館  
 第1学年3組 37名  
 指導者 教諭 今成 友美（T1）  
 外部講師 助産師 山崎 麻子（T2）

### 1 単元名 （2）心身の機能の発達と心の健康（イ）生殖に関わる機能の成熟

#### 2 単元について

本単元では、中学生になると身体の各器官が発育・発達し、個人差はあるものの、体は大人へと近付いていることを学ぶ。また、健康の保持増進を図るための基盤として、心身の機能は生活経験などの影響を受けながら年齢とともに発達すること、思春期は性に対する意識や変化が著しいことを理解させ、主体的に取り組む態度を身に付けることをねらいとしている。

具体的に性と向き合うには、自分の体と心の変化を受け止め、仲間とより良い関係が築けるように、同性だけでなく異性の体や心についても理解が必要である。異性の尊重、性情報への対処など、適切な態度や行動を自ら選択し、体と心の健康に関する課題を解決するための思考力・判断力を身に付けさせたい。

#### 3 生徒の実態

##### （1）知識及び技能

これまでに生徒は、小学校第4学年の「体の発育・発達」の単元で、年齢に伴う体の変化と個人差、思春期の体の変化や体をよりよく発育・発達させるための生活について理解し、異性への関心の芽生えは、大人の体に近づく現象であることを学習してきた。アンケートの集計結果によると、自分の体が大人に近づいていると感じている生徒が多く、「性」への意識も非常に高い。学習で得た知識・技能をどのように日常生活の中で生かすのかは課題である。

##### （2）思考力、判断力、表現力等

対話的活動では、班やグループで協力して課題に取り組むことが多く、意見交換や議論を通じて解決策を見つけ出し、自分の考えを表現する力がある。消極的な生徒もいるが、ワークシートを活用し、自分の意見を書いてから話し合うと、円滑な活動ができる。毎時間行っているクロストーク（導入時）で仲間とのコミュニケーションをとりながら活発に互いの意見を交換することができる。

##### （3）学びに向かう力、人間性等

明るく前向きな生徒が多く、授業に取り組む意識も高い。客観的に物事を判断して言及することも多い反面、意見の食い違いや捉え方に差がでることがある。また、考えていることや、疑問に思ったことをすぐに発言することもある。

【アンケート結果 生徒用】令和7年9月5日（金）実施

	はい	いいえ
1 保健の学習は好きですか？	30	5
2 あなたにとって「健康」とはどのようなことですか？（記述） 元気である 食事ができる 病気にならない 心・体ともに健康である 1日3食 7時間以上の睡眠		
3 体の変化・現れ方やスピードには、個人差があると思いますか？	34	1

4 自分の体が大人の体に近づいていると感じることはありますか？	26	9
5 大人の体に近づいているとは、どういうことですか？（記述） 胸が膨らむ 背が伸びる 体が丈夫になる 生理がくる 病気になりにくい 声変わり 髭が生える		
6 異性と話すとき、意識してうまく話せないことはありますか？	6	29
7 性に関する意識は、個人差があると思いますか？	32	3
8 思春期の体の変化や、自分の体について学習することは大切だと思いますか？	33	2
9 自分の体のことについて、おうちの人と話をする機会はありますか？	15	20
10 専門家（医師・助産師等）に体についての悩みを相談したいと思いますか？（記述） 特に悩みがない まずは親に相談したい	2	33

【アンケート結果 保護者用】 令和6年7月6日（土）授業参観で実施

「性に関する指導」で期待すること上位3項目について
1. 学校では正しい知識を教えて欲しい。
2. 将来正しく選択して適切に行動してもらいたい。
3. 相手に対して思いやる気持ちを持って欲しい。
※保護者の願いは、①正しい知識の習得 ②学んだことを実生活で生かすことであった。

4 教師の指導観

(1) 知識及び技能

授業では、「健康な生活と病気の予防①」「心身の機能の発達と心の健康」（生殖機能の成熟）までを学んでいる。生徒の発達段階を踏まえた上で、性に対して正しく理解させ、適切な行動が自ら取れるように授業内容を工夫し、今後の生活の中で習得した知識を「生かす場面」を常に想定できるように指導する。

(2) 思考力、判断力、表現力等

自己の課題を見付けやすいように、スライド資料（パワーポイント）を工夫し、事前学習では互いにノートを相互評価するとともに、導入時のクロストークを行うことで言語活動を充実させる。仲間との学び合いを通じて、適切な行動選択ができるように、自分で思考判断し、表現できる能力を育成する。

(3) 学びに向かう力、人間性等

「性」に対して意識を高め、「自分ごと」として捉え、「今後の生活でどのように生かすか」が重要になる。授業では自主的に取り組むことができるよう小グループでの活動や、教材教具の工夫をして学習を展開したい。また、関心の高まりによってもたらされる危険についても、主体的に対処法を身につけられるよう、働きかけていく。

5 単元の目標

(1) 異性の尊重、性情報への対処について関心をもち、性に関する適切な態度や行動について、理解することができるようにする。 <知識及び技能>

(2) 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、習得した知識を活用して科学的に思考・判断し、表現することができるようにする。 <思考力、判断力、表現力等>

(3) 心身の機能の発達と心の健康について、課題解決に向けての話合いや発表などを通して自分の生活を振り返り、今後のよりよい生活について考え、進んで学習に取り組もうとすることができるようにする。 <学びに向かう力、人間性等>

6 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①思春期には、内分泌の働きによって生殖に関わる機能が成熟すること。また、成熟に伴う変化に対応した適切な行動が必要となることについて、理解したことを言ったり、書いたりしている。</p> <p>②性に関する適切な態度や行動について理解したことを言ったり、書いたりしている。</p>	<p>①心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて習得した知識を活用して、思考・判断し、表現している。</p> <p>②適切な態度や行動についての方法を考え、その理由などを他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて伝え合っている。</p>	<p>①心身の機能の発達と心の健康について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習を通して、自分の生活を振り返り、今後のよりよい生活の仕方について考えることに進んで取り組もうとしている。</p>

※「主体的に学習に取り組む態度」については、単元全体で評価していく。

7 単元の指導と評価の計画（全5時間） 本時は○印

時	学習のねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
1	<p>I ねらい【体の発育・発達】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体の多くの器官が発育することで、身長や体重が急に発育し、筋力や全身持久力、循環器や呼吸器もそれに伴い発達することについて理解できるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 本時の課題について考える（クロストーク）</li> <li>2 学習のねらいを確認する</li> <li>3 体の各器官の発育・発達について</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「発育」とは大きさが増すこと、「発達」とは働きが高まること</li> <li>・思春期には男女それぞれの体の特徴があり、その時期や程度には個人差があるということ</li> </ul> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 本時の学習の確認・振り返り・まとめ</li> </ol>	①		①	観察  観察・ワークシート
2	<p>I ねらい【呼吸器・循環器の発達】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・呼吸器や循環器はどのように発達するのかについて理解できるようにする。</li> <li>・呼吸器や循環器の発達と運動について理解できるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 前時の学習を振り返る</li> <li>2 学習のねらいを確認する（クロストーク）</li> </ol>	①	②		観察



1 前時の学習を振り返る 2 学習のねらいを確認する (クロストーク) 3 性意識の変化について知る 性情報への対処と行動について知る ふれあいサイコロゲーム				観察  観察
主たる学習内容 (知識) ・思春期は、性機能の成熟に伴い、性意識の変化が現れる時期であるということ ・身近に様々な性情報があり、正しい情報を選択し、適切な行動・対処方法があるということ				
4 本時の学習の確認・振り返り・まとめ				観察・ワークシート

### 8 本時の学習と指導 (5/5)

#### (1) ねらい

思春期における性意識の変化と適切な行動選択や対処方法について理解できるようにする。

<知識及び技能>

#### (2) 準備・・・ワークシート、電子黒板、サイコロ (大)、タブレット (生徒用)、ホワイトボード

#### (3) 展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点 (○指導 ◆評価規準) T 1 指導者 T 2 外部講師
導入 8分	1 号令・挨拶	T 1 元気よく挨拶をさせる。
	2 前時の振り返り (K a h o o t !) ・生殖機能の成熟について	T 1 助産師の紹介と前時の振り返りをし、正しい知識が身に付いているかを確認する。
	3 助産師より助言 	T 2 生徒のK a h o o t !の正答率や取り組む様子を見て、正しい知識を身に付けることの重要性について説明する。
	【学習課題】 思春期における性意識の変化に伴い、適切な行動選択をするにはどうすればよいだろうか？	
	5 クロストーク (2分) 「好きな相手に嫌われないように、言いなりになることはいけないことなの？」	T 1 自分の考えを伝えさせ、時間いっぱい話せるように指示をする。 T 2 友情と違う感情や同性への関心、性的関心がない人もいることを説明する。
展開 3分 5分	6 性意識の変化について知る ・性的欲求が強くなり、性衝動が生じる ・性意識には個人差があり、自分の気持ちを一方的に押しつけない。 ・嫌な時には嫌としっかり断る。	T 1 スライドを用いて、性意識の変化について確認し、アンケート結果から、性的欲求が強くなり、性衝動が生じることなど、性意識には個人差があることについて説明をする。  T 2 机間指導
	主たる学習内容 (知識) ・思春期は、性機能の成熟に伴い、性意識の変化	

が現れる時期であるということ

- ・身近に様々な性情報があり、正しい情報を選択し、適切な行動・対処方法があるということ

### 7 ふれあいサイコロゲーム

- ・「ふれあい」には、どんなものがあるのか？

<予想される反応>

握手 ハイタッチ なでる ギューとする  
肩をもむ おんぶする 手をつなぐ

- ・ふれあいサイコロゲームのルール（確認）

\*出た目のふれあいをして良いか相手に聞く



\*返事をする

\*相手に断られたら、やらない。相手に対して、怒ったり、泣いたり、不機嫌な態度になったりしない

### グループ

- ①隣同士 (異性) → ②自由な仲間同士 (指定なし)

### 8 ゲーム後の感想記入（ワークシート）

- ・ゲームを終えた後の率直な感想を具体的に記入する。



### 9 感想発表

<予想される反応>

- ・知っている人なら誰とでもできる
- ・できる人とできない人がいた
- ・できる、できないは相手にもよる。時と場合のかな
- ・家族だったらできるかもしれない
- ・嫌な時は「いやだ」と言っていた。もしかしたら、相手は傷ついていたかもしれない

### 10 まとめ

- ・T1がまとめの話をする。
- ・T2がまとめの話をする。



### 11 号令・挨拶

T1 「ふれあい」とはどのようなものがあるのか、個人（30秒）で考えさせ、その後、隣の席同士で共有、数人発表させる。

T2 机間指導



T1 ルールをしっかりと理解させ、活動がスムーズにできるようにさせる。

T2 机間指導

T1 サイコロゲーム②の途中でゲームを中断し、例え同じ人でも、親しい仲間でも時と場合によって変わること、目には見えない色々なことが関係していることについて触れる。

◆性に関する適切な態度や行動について理解したことを言ったり、書いたりできる。

（観察・ワークシート）【知識・技能】

△「努力を要する」状況（C）と判断される生徒への指導の手立て

- ・これまでの学習内容を振り返らせ、具体的にイメージさせ、確認させる。机間指導で助言を行う。

◎「十分満足できる」状況（A）と判断される生徒の具体的な姿

- ・自分のこととして捉え、今後の生活でどのように活かすのか、具体的な内容を考え、まとめることができる。

T1 机間指導しながら、発表者を指名しスムーズに発表できるようにする。

T2 嫌な時は「嫌だ」「やめて」と相手に伝えること、自分の気持ちに正直になることの大切さについて触れる。

T1 振り返りをおこなって、まとめの話をし、今後の生活について考えさせる。

T2 体の発達とともに、性意識が高まり、正しい情報や適切な行動をとることの必要性、自分自身を大切にすることを伝え、個別の指導につなげていく。

T1 元気に挨拶をさせる。

ま  
と  
め  
7  
分

9 資料等

前時の振り返り (Kahoot!) 一部掲載

女子では卵巣が発達し、〇〇が成熟する。

女子では月経が起こり、男子では〇〇が起こる。

思春期になると下垂体から〇〇〇〇ホルモンが分泌される。

男子では精巣が発達し、〇〇が成熟する。

女性の体内に胎児(たいじ)が宿っていることを〇〇という。

初めての月経のことを何という？

授業用スライド

授業前準備をしよう！  
Kahoot!へのログイン  
ゲームPIN

1

前時の振り返り  
生殖機能の成熟について

①思春期の体の  
変化や、月経、  
射精、妊娠は  
どんな仕組み  
だったかな？

2

助産師 あさこ先生より  
正しい知識は身に  
ついている？

3

学習課題  
思春期における性意識の  
変化に伴い、適切な行動選択  
をするにはどうすればよい  
だろうか？

A B

4

クロストーク 「テーマ」  
好きな相手に嫌われないよ  
うに、言いなりになることは  
いけないことなの？

5

助産師 あさこ先生より  
色々な感情 性的関心について

6

# 性に関する知識はどこから入手?!

7

友人や先輩  
漫画/コミックス  
学校 (先生や授業や教科書)

情報には正しくないものもある。  
正しい知識を学び適切な行動をとることが大事。

8

## 性意識の変化

性のことや、異性への関心が高まる。

9

例えば・・・

①性的欲求が強くなる

10

例えば・・・

②性衝動が生じる

11

例えば・・・

③特定の人と親しく交際したい

12

振り返る

体の発育・発達で学んだことから考えてみよう!

身長や体重が急に発育する時期その時期や程度には?!

13

性意識には「個人差」がある。

自分の気持ちを一方的に押しつけない。

14

ふれあいサイコロゲーム

にはどんなものがある?

①個人30秒考える  
②隣同士で共有

15

### ルールの確認

①出た目のふれあいをして良いか相手に聞く

②返事をする

③相手に断られたら、やらない。相手にに対して怒らない。攻めない。不機嫌な態度にならない。

16

ふれあいサイコロゲーム①

### 隣同士

17

ふれあいサイコロゲーム②

### 自由な仲間同士

18

### ルールの確認

①相手に聞いてる?  
②返事してる?

19

### 時と場合によって相手によって

目には見えない色々なことが関係している

20

### 感想記入 (ワークシート)

率直な感想を自分の言葉でまとめる

21

### 感想発表

自分と違う考え? 同じ考え?

22

### まとめ

適切な対処・行動選択をすることの大切さ。

23

助産師 あさこ先生より

### 自分自身を大切にすること

24

1年 組 名前 \_\_\_\_\_

前時の振り返り(Kahoot!)「生殖機能の成熟について」  
クlostークの振り返り

自己評価      S    A    B    C  
自己評価      S    A    B    C



\*\*\*\*\*

**学習課題** 思春期における性意識の変化に伴い、適切な \_\_\_\_\_ 選択をするにはどうすればよいだろうか？

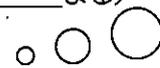
**【考える】** 思春期とは子供から大人への移行期

一般に小学校高学年から \_\_\_\_\_ にかけての時期

性意識の変化 性的欲求 ( \_\_\_\_\_ くなる)

性衝動(戸惑い) 異性への関心 ( \_\_\_\_\_ まる)

友情と違う感情



性意識には…



「 \_\_\_\_\_ 」がある！

「ふれあい」にはどんなものがある？ ①個人で考える(30秒) → ②隣同士で共有 → ③発表

【自分の考え】

【友達の考え】

\*\*\*\*\*

振り返り



ふれあいサイコロゲームのルールを理解し、活動することができた。	できた ・ できない
多様な考え方や、感じ方があることを理解することができた。	できた ・ できない
性意識には個人差があり、一人一人の「違い」を大切にすることについて理解することができた。	できた ・ できない

感想




【見方・考え方】今日の授業を振り返り、感想を書いてみよう。

## 【授業研究会生徒の感想】

- 同性とはサイコロゲームで楽しくできたが、異性だと気まずい感じになってしまった。男女の接しやすさの違いを理解することができた。ふれあいサイコロゲームをして、しても良いか、相手によって異なり個人差があることがわかった。ふれあいをする相手によってしても良い範囲がある。仲の良い友達の時、聞き忘れてしまうことがあったけど、聞き忘れないように気を付けたい。
- 私はふれあいサイコロゲームをやって、人の考え方には、個人差があると分かりました。隣同士より、自由に組んだ相手の方がやりやすい。しかし、個人差があるので、仲の良い相手だとしても、ふれあうときには、確認をして、相手にOKをもらってから、触れ合おうと思う。ふれあいについて、言葉で説明できるようになった。性意識には個人差があり、思春期になると性的欲求が強くなることがわかりました。多様な考え方についても、しっかり理解したい。
- 仲の良い人とふれあいサイコロゲームをやる時も、やっても良いかきちんと聞こうと思った。
- ふれあいサイコロゲームをやって、人と人とは見えない境界線があり、やる人によってできること、できないことがあるということが分かりました。人の相手への意識は、個人差があって、見えないから難しいものだと思います。1人1人、感じ方やふれあいには個人差があると思いました。異性の時は、ほぼ断っていたけれど、仲の良い仲間とペアになった時は、承諾しふれあいサイコロゲームをしました。人によって、意識やとらえ方が全く違うこともわかった。今後の生活にいかしたい。
- 相手の気持ちを考えることも大切だと思った。また、自分の気持ちもしっかり嫌な時は相手に伝えたい。
- 性意識にも個人差があることが分かりました。相手の気持ちをしっかり受け止めることも大切だと思った。
- 異性、同性関係なく、忘れずに同意や許可を取ってふれあいをするべきだと思った。相手を尊重する気持ちも大切である。

## (高等学校部会)

### 令和7年度埼玉県「性に関する指導」(保健教育) 授業研究会開催要項

#### 1. 趣 旨

近年、性情報の氾濫など、子供たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、子供たちが性に関して適切に理解し、行動することができるようにすることが課題となっている。このため、体の発育・発達、心身の健康、性感染症等の予防に関する知識を身に付けること、生命の尊重や自己及び他者の個性を尊重するとともに、相手を思いやり、望ましい人間関係を構築することなどを重視し、これらに関連付けて指導することが重要である。なかでも、学校における性に関する指導の中核である体育科(保健体育科)の保健の授業において、学習指導要領に基づく保健教育の実践は不可欠である。

そこで、学校において発達の段階に応じた適切な指導が実施されるよう、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員による授業研究会を開催し、研究協議を行う。

#### 2 主 催 埼玉県教育委員会

#### 3 期 日 令和7年11月17日(月)

#### 4 会 場 県立三郷高等学校(三郷市花和田620-1)

#### 5 参加者 県内公立高等学校及び特別支援学校の教職員(保健体育科教諭、保健主事、養護教諭等)

※特に、採用後1～4年目で、毎年開催される本授業研究会にこれまで一度も参加したことのない者(科目保健授業担当者)の参加について、御配慮願います。

#### 6 日 程

		場所
(1) 受付	13時10分～	(職員玄関)
(2) 公開授業	13時35分～14時25分	(1階第3情報室)
(3) 全体会	14時40分～14時55分	(1階第3情報室)
(4) 研究協議	15時00分～16時20分	(1階第3情報室)

#### 7 公開授業

学年	授業者	単元名
2年	養護教諭 宮尾 仁美 教諭 大澤 詳平	(3) 生涯を通じる健康 (ア) 生涯の各段階における健康 ① 結婚生活と健康

#### 8 指導者及び役員

埼玉県教育局県立学校部保健体育課	課 長	荻原 篤大
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	主任指導主事	葉師寺將二
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	佐野 秀行
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	高沢 聖子
埼玉県教育局県立学校部保健体育課	指導主事	山田 朗

埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会委員

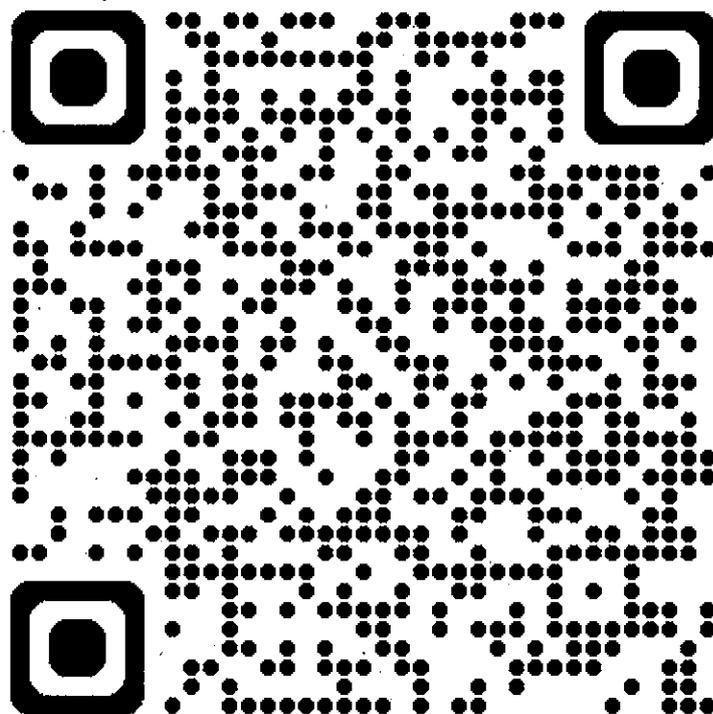
埼玉大学教育学部長	委員	長	戸部 秀之
飯能市立奥武蔵中学校校長	副委員	長	芦川 恵美
県立進修館高等学校教諭	委員	員	梨本 雄太
県立大宮工業高等学校養護教諭	委員	員	吉田 聡
県立越谷西特別支援学校養護教諭	委員	員	渡邊登志子

9 参加について

- ・上履きと下足入れをお持ちください。
- ・駐車場には限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。
- ・会場校に来校する際には、以下を参照ください。

## 県立三郷高等学校への御案内

下記二次元コードより、学校ホームページをご確認ください。



(3)生涯を通じる健康

(ア)生涯の各段階における健康

①結婚生活と健康

1 指導内容の系統性

中学校では、「心身の機能の発達と心の健康」において、生殖にかかわる機能の成熟や成熟の変化に伴う適切な行動、および個人差について学んでいる。  
また、本校において、毎年6月に産婦人科医による性に関する指導の講演会にて「妊娠・出産・避妊・中絶手術・子宮頸がん・月経痛等」について話を聴いている。

2 指導内容の明確化

ア 知識及び技能

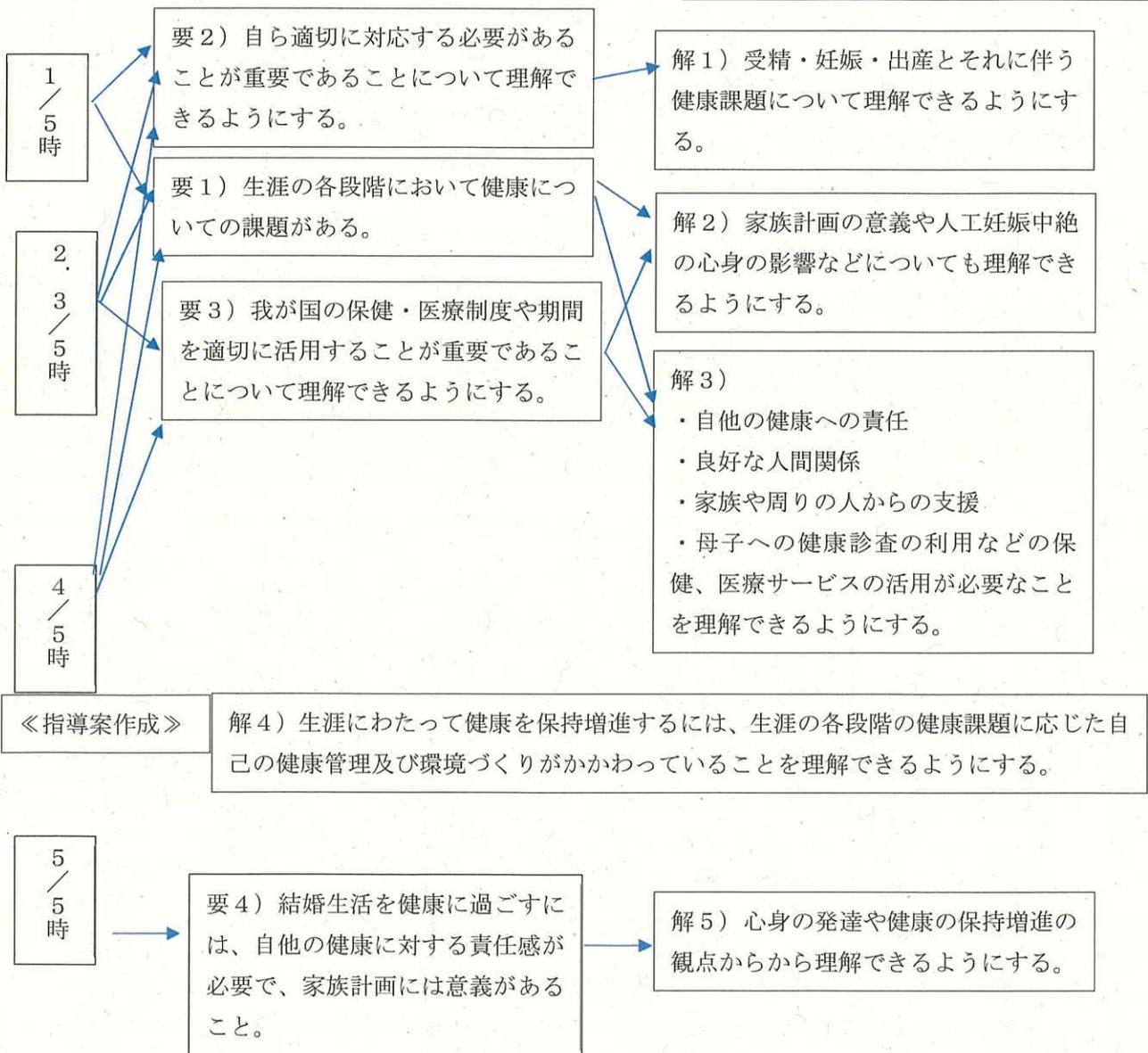
(イ) 結婚生活と健康

健康な結婚生活について

要)：学習指導要領  
解)：同解説  
の内容を示します。

指導に当たっては、

- ①発達段階を踏まえること
  - ②学校全体で共通理解を図ること
  - ③保護者の理解を得ること
- などに配慮することが大切である。



### 3 知識を活用した学習（4/5時間目）

学習指導要領においては、科目保健の「内容の取り扱い」として、「知識を活用する学習活動を取り入れるなど指導方法の工夫を行うものとする」ことが示されている。これは、知識の「習得」と「活用」の相互作用を取り入れた指導を行うことにより、思考力・判断力等を育成していくことの重要性を示したものである。そこで、そのことを鑑み、本時では、思考力・判断力等を育成するために、次のような知識を活用した学習活動の工夫を行った。

#### <導入>

#### 前時の復習・本時のねらいの確認

性にまつわることを多角的に学び、得た知識すべてを使って「赤ちゃんポスト」という社会的要素について考え、自分の考えを言語化し、他者と共有する。

#### 習得

#### <展開1>

- ① 前時までの「母子保健サービス」「不妊・流産」「社会的養護」について、個人の調べ学習およびグループのエキスパート活動で習得した知識を確認。生徒が苦手とする「年数」「日数」「母体数」などの単位ごとによる数字の知識を改めて確認し、正しい知識を得ることができるよう全体での講義を受ける。
- ② 赤ちゃんポストに関する概略・知識の講義を受ける。名前のイメージだけでなく、メリット・デメリットを把握。さらに赤ちゃんポストの設備等の実際の動画を見て、自分事としてとらえ真剣に考える。

#### <展開2>

#### 活用

- ① 今まで習得してきた知識をもとに、赤ちゃんポストについて賛成か反対か、自分の意見を考える。
- ② 赤ちゃんポストについて賛成なら改善案、反対なら代替案を考える。
- ③ ②を同じ意見の班に分かれて話し合う。

#### 評価（観察・ワークシート）

- ・今まで習得してきた知識（避妊・母子保健サービス・人工妊娠中絶手術等）を活用して考えられているか。
- ・また、他者の考えに触れて、自分の考えを深める思考力がついているか。

（思考・判断・表現）

#### まとめ

- ・スプレッドシートにグループごとの意見を入力し共有。
- ・各自で感想を記入。
- ・「内密出産」という現時点での実際の改善案を知り、さらにその問題点に気づき、今後の興味関心、生涯における保健知識のアップデートの必要性の理解へとつなげる。

# 保健体育科（科目保健）学習指導案

令和7年11月17日（月）第5時限 第3情報処理室

第2学年1組 30名

指導者 養護教諭 宮尾仁美

教諭 大澤詳平

1 単元名 (3) 生涯を通じる健康 (ア) 生涯の各段階における健康 ④結婚生活と健康

2 単元について

本単元では、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて理解できるようにする。また、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響、結婚生活を健康に過ごすには自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康診査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることを理解できるようにする。

3 生徒の実態

(1) 知識及び技能

(掲載省略)

(2) 思考力、判断力、表現力等

(掲載省略)

(3) 学びに向かう力、人間性等

(掲載省略)

【生徒事前アンケート結果】 事後アンケートと共に後に掲載

【保護者アンケート結果】 回答数 12/30人

中学校で「性に関する指導」が行われていたかご存じですか	はい 91.7%    いいえ 8.3%
高校で「性に関する指導」を実施することに対してどのようにお考えですか	必要である 100%
ご家庭で性に関する知識や情報を話したり共有することはありますか	はい 58.3% いいえ 33.3% 具体的には話さないが、ふわっと会話に入れる 8.3%
学校ではどのような項目の教育が必要・やってほしいと思いますか	避妊 91.9% 人工妊娠中絶手術 66.7% セクシャルハラスメント 58.3% 不妊・流産 50% 出産費用 41.7%                      以下略

※学校教育における「性に関する指導」に対し、非常に高い期待が見受けられる。

#### 4 教師の指導観

##### (1) 知識及び技能

本単元では、「学習の苦手な生徒や、自分の考えを表現することが苦手な生徒」に対して「理解力・記憶力・思考力・判断力を深める」ことに重点を置く。SOSを求める力の低い生徒もおり、その中には家庭環境に事情がある場合も見られる。性に関する逸脱行動・望まぬ妊娠等を自分事として真剣にとらえられる構成にし、知識の定着を目指す。

##### (2) 思考力、判断力、表現力等

講義を聞いて理解する力、自分で調べる力、人が調べたことを聞く力、得た知識をすべて使って考える力を培うため、スモールステップからのジグソー法、クロストークを充実させる。

##### (3) 学びに向かう力、人間性等

文部科学省が推進している生命（いのち）の安全教育も踏まえ、体系的な指導により、いざというときに生徒たちが建設的に考えることができるとともに、周囲の同様な困難を抱える友人に寄り添い、支援者としても力を尽くすことができるよう、生徒が成長できる教育環境を作る。

#### 5 単元の目標

- (1) 結婚生活と健康について、心身の発達や健康の保持増進について理解することができるようにする。  
<知識及び技能>
- (2) 結婚生活と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康課題の解決や生活の質の向上に向けて、保健・医療サービスの活用方法を整理し、それらを説明することができるようにする。  
<思考力、判断力、表現力等>
- (3) 結婚生活と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。  
<学びに向かう力、人間性等>

#### 6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことについて、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、また、健康課題には年齢や生活習慣などが関わることについて理解したことを言ったり、書いたりしている。</p> <p>②結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子の健康調査の利用や保健相談などの様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて理解したことを言ったり、書いたりしている。</p>	<p>①結婚生活と健康について、資料等で調べたことを基に、課題を見つけたり、解決の方法を整理したりするなどして、それらを説明している。</p> <p>②地域の保健・医療機関の活用について、学習したことを、個人及び社会生活と比較、分析、計画を立て、また、筋道を立ててそれらを説明している。</p>	<p>①結婚生活と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている</p>

③家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解したことを言ったり、書いたりしている。		
---	--	--

7 指導と評価の計画 (全5時間)

時	学習のねらい・学習活動	知	思	態	評価方法
事前アンケート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1度、保健環境部行事として性に関する指導の外部講師による講演会（産婦人科医）も行っているため、現在の知識や選択意識がどの程度か確認する。</li> <li>・自分未来年表（選択式）1回目</li> </ul>				
1	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解できるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 これまでの学習の確認をする。</li> <li>2 本時の課題を確認する。</li> <li>3 出産・陣痛について学ぶ。</li> <li>4 二人の女性の出産手記を基に違いを考える。</li> <li>5 避妊についての正しい知識を得る。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受精、妊娠、出産にはそれに伴う健康課題があること。</li> <li>・健康課題には年齢や生活習慣などが関わること。</li> </ul> </div> <p>6 本時の学習の確認・振り返り・まとめ。</p>	①			観察・ワークシート
2	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚生活を健康に過ごすには、様々な保健・医療サービスの活用が必要であることについて理解できるようにする。</li> <li>・課題を見つけたり、解決の方法を整理したりするなどして、それらを説明できるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 前時の学習を振り返る。</li> <li>2 本時の課題を確認する。</li> <li>3 保健・医療サービス等について学ぶ。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>主たる学習内容（知識）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚生活を健康に過ごすには、様々な保健・医療サービスが必要であること。</li> </ul> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 エキスパート活動を行う。</li> <li>5 情報交換をする。</li> </ol>	②			観察・ワークシート

	6 本時の学習の確認・振り返り・まとめ。				
3	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解できるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 前時の学習を振り返る。</li> <li>2 本時の課題を確認する。</li> <li>3 人工妊娠中絶手術について学ぶ。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容 (知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人工妊娠中絶には心身に影響があること。</li> </ul> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 「赤ちゃんポスト」についての問いかけ。</li> <li>5 本時の学習の確認・振り返り・まとめ。</li> </ol>	③			観察・ワークシート
④	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今まで学んできた知識を活用し、社会的問題についての改善策を考えることができるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 前時の学習を振り返る。</li> <li>2 赤ちゃんポストについて学ぶ。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容 (知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚生活を健康に過ごすには、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援が必要であること。</li> </ul> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>3 本時の課題を確認する。</li> <li>4 自分の考えを深める。</li> <li>5 クロストークを行う。</li> <li>6 本時の学習の確認・振り返り・まとめ。</li> </ol>		②		観察・ワークシート
5	<p>I ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んできたことを生かし、自身の人生計画をたてるできるようにする。</li> </ul> <p>II 学習活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 前時の学習を振り返る。</li> <li>2 本時の課題を確認する。</li> <li>3 様々な健康課題について学ぶ。</li> </ol> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容 (知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚生活を健康に過ごすには、自他の健康に対する責任感が必要で、家族計画には意義があること。</li> </ul> </div> <ol style="list-style-type: none"> <li>4 マッピングの完成。</li> <li>5 自分未来年表 2 回目の作成。</li> <li>6 事後アンケート・授業のまとめ。</li> </ol>			①	観察・ワークシート 事後アンケート

8 前時におけるエキスパート活動 (2 / 5時)

エキスパート1	エキスパート2	エキスパート3
母子保健サービスについて	不妊・流産について	社会的養護について
問1 母子手帳はどこで、何のためにもらうか 問2 妊娠健康診査は誰が受けられるか 問3 妊娠健康診査はどんなものが受けられるか。またいくらか 問4 出産育児一時金とはどんなときにもらえて、いくらか 問5 実際に出産にかかるお金はどれくらいで、どの病院でも同じか、健康保険は使えるか 問6 帝王切開（おなかを切る出産）は健康保険は使えるか <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;予想される反応&gt;              お金が足りない。もしくは出産以外に充てることを狙う。思っていたより（事前アンケート結果）お金もらえる。</p> </div>	問1 不妊とはどういう状態か 問2 避妊をしない性交渉の妊娠の確率はどれくらいか 問3 どのくらいのカップルが不妊に悩むといわれているか 問4 流産と死産の違いは何か 問5 各妊娠期間の流産・死産の確率を調べよ ・9週まで（妊娠2か月） ・10～40週まで（妊娠2～10か月） 問6 繰り返し流産してしまう不妊について、調べたことを箇条書きで書け <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;予想される反応&gt;              不妊を耳にしたことはあっても身近に感じられない。自分とは関係ないと思う。</p> </div>	問1 社会的養護（養育）とは 問2 養子縁組という制度は何か 問3 里親という制度は何か、養子縁組との違いはなにか 問4 年間人工妊娠中絶手術件数 問5 年間出生数 問6 0歳児の死体遺棄事件数 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>&lt;予想される反応&gt;              かわいそうな子がいる。そんなに件数は多くないのではないか。</p> </div>

9 本時の指導案 (4 / 5時)

(1) ねらい

・今まで学んできた知識を活用し、社会的問題についての改善策を考えることができるようにする。

<思考力、判断力、表現力等>

(2) 準備・・・ワークシート、タブレット、教科書

(3) 展開

時間	学習内容・活動	指導上の留意点 (○指導 ◆評価規準)
<p>導入 15分</p>	<p>1 前時までの振り返りをする マッピングを確認する。 前時に受けた質問の回答を聞く。</p> <p>2 赤ちゃんポスト講義 熊本県慈恵病院の取り組み「このとりのゆりかご」の概略・メリット・デメリット (※資料①参照) の講義を聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>主たる学習内容 (知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・結婚生活を健康に過ごすには、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援が必要であること。</li> </ul> </div>	<p>○前回までに、妊娠、出産、避妊、人工妊娠中絶手術、母子保健サービス、不妊・流産、社会的養護について学んでいるので確認をする。</p> <p>○エキスパート・ジグソー活動を行ったことの確認をする。</p> <p>○前時の最後に伝えた赤ちゃんポスト「このとりのゆりかご」についての講義を行う</p> <p>T1 進行、マッピング補助</p> <p>T2 前時振り返り、質問回答、赤ちゃんポスト講義</p>
<p>展開 30分</p>	<p>3 本時の課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習課題】</p> <p>学んできた知識を活用し、赤ちゃんポストという社会的なテーマについて改善策を考えよう。</p> </div> <p>4 自分の考えを深める</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Q1 赤ちゃんポストに賛成か反対か理由も考えよ (フォーム入力)</p> </div> <p>〈予想される反応〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賛成→命が助かるのが一番だから</li> <li>・反対→ほかの制度をちゃんと知っていれば使わずに済むから</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>Q2 賛成なら改善案、反対なら代替案を考えよ</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない・決められない→どちらについても考えさせる。(そのうえで決めるのも構わない。)</li> </ul> <p>プリントに書いてからフォームに入力する。</p>	<p>T2 進行</p> <p>T1 机間巡視、助言</p> <p>○今回は、前回までの調べ学習をメインに、言語化・文章化・話し合いに重きを置く。時間はこちらで計測する。</p> <p>○すべての意見を否定することなく、様々な考え・視点があることを伝える。</p> <p>○本時で学んだことを踏まえて、さらに課題の原因や背景について考えるよう指示をする。</p> <p>T2 進行、机間巡視、助言</p> <p>T1 フォームで賛成・反対を班分けする。</p> <p>○机間指導の中で、賛成・反対が決められない場合、メリット・デメリットで気になるところを掘り下げるよう助言する。</p> <p>○どの意見も間違いはなく、大人でも難しい問題であるため、考える経験が大切であることを伝える。</p>

	<p>5 クロストーク</p> <p>(1) 机を移動(その場で班決め)</p> <p>(2) 同じ意見の者同士で分かれて、それぞれで賛成反対の理由および改善案・代替案を話し合う</p> <p>例「私は～理由で賛成です。改善案は～」を共有しあう。</p> <p>(3) チームごとの改善案・代替案を考える。</p> <p>(4) 班ごとにフォームに入力・スプレッドシートで発表する。</p> 	<p>T1 机移動させる。机間巡視、助言</p> <p>T2 進行・机間巡視・助言</p> <p>◆今まで学んできた知識を活用し、社会的問題についての改善策を考えている。 (観察・ワークシート)【思考・判断・表現】</p> <p>△「努力を要する」状況と判断された生徒への手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで学習したことから、改善策として考えられるものを挙げ、選択させる。</li> </ul> <p>◎「十分満足できる」状況(A)と判断される生徒の具体的な姿</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学びを生かした具体的な改善策を考え、周囲を納得させることができる。</li> </ul> <p>T1 進行</p> <p>○発表の苦手な生徒も自己表現できるように、板書発表の代わりにスプレッドシートでの発表とする。(記名発表)</p> <p>○あくまで思考・言語化に特化したいので、賛成、反対の偏りは可とする。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>6. 本時のまとめを行う</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現状の改善案である「内密出産」にふれる。</li> <li>・本時の学習を振り返り、個人で本時の課題について考えを深め、感想と質問を記入する。</li> </ul>	<p>T1 進行</p> <p>T2 まとめ、内密出産の投げかけ</p> <p>○授業前の自分の認識から、本時に学んだことを踏まえ新しい気づきや疑問などを記入するよう指導する。</p> <p>○「内密出産」に対する興味関心を沸かせて、さらに知りたいという意欲及び問題点の気づきにつなげる。</p>

〈次時において〉

本時まで学んだことを踏まえて、事後アンケートに答える。

さらに他側面からの学びとして、LGBTQ,セクシャルハラスメントについて学ぶ。(マッピング完成)

以上を踏まえて、自分の今後の計画年表を記入し、思考、表現を深める。

最後に事前アンケートと同様のアンケートを実施し、自身の理解度・考えの変化を確認する。

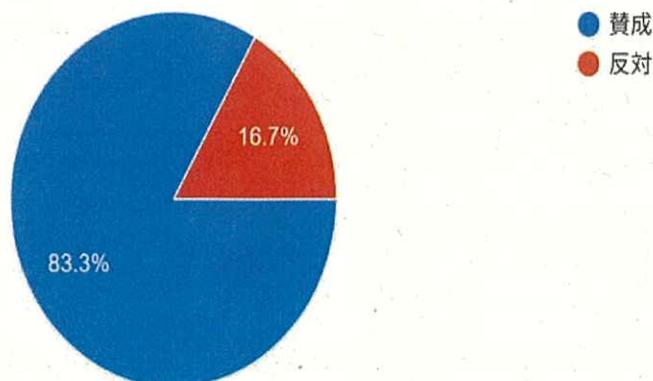
資料① 赤ちゃんポストメリットデメリット (パワーポイント資料)

メリット	デメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃん<b>と母親の命が救える。</b></li> <li>・預けた後、<b>赤ちゃんの安全が守られる。</b></li> <li>・預けた親が犯罪にならない。</li> <li>・実際に救われた命がたくさんある。170件。(17年間で)</li> <li>・<b>匿名でも預けられる</b>ため、人に話せないと悩む母親が頼れる。</li> <li>・病院のスタッフと保護者が話せば母子ともに<b>様々な支援</b>につなげられる。 (実親が育てられるように仲介したり、養子縁組へつなげるなど)</li> <li>・赤ちゃんへのメッセージ置き場が併設されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃんポストに預ければいいと思い、非常に危険な未検診、<b>孤立出産</b>してしまう。(利用者の6割)</li> <li>・赤ちゃんポストを目指して、母子ともに生命危機レベルの治療が必要な状態で、<b>遠くから非常に無理</b>をして来ってしまう。</li> <li>・利用者が匿名性を重視する場合、子供に将来出自を伝えられない／<b>真実告知が難しい</b>／子供を傷つける不安。</li> <li>・母親が匿名性を重視しすぎて、治療が必要な状態の母親が、そのままいなくなってしまうケースがある。</li> <li>・赤ちゃんポストにかかわっていれば、犯罪にならないととらえて、利用方法を理解せずきちんと中に入れず、外に置かれて、赤ちゃんが危険にさらされたケースがあった。</li> <li>・新生児対象なのに幼児が預けられてしまうケースがあった。</li> <li>・匿名性があるため、二重戸籍の可能性もある。</li> <li>・<b>病院の負担</b>が大きい(昨年度5000万円の負担)</li> </ul>

参考資料:「このとりのゆりかご」第6期検証報告書  
 慈恵病院 理事 蓮田真琴 様  
 インタビュー (R7.10.17)

Q1 赤ちゃんポストに賛成か反対か理由も考えよ 結果

赤ちゃんポストについて、あなたは賛成ですか 反対ですか  
 24件の回答



Q2 賛成なら改善案、反対なら代替案を考えよ（※一部修正）

●賛成派

- ・赤ちゃんを安全な場所に預けられるから。
- ・病院の負担が大きいという視点から団体に任せずに匿名の人たちにもしっかり声をかける。病院の全国的な展開→税金の支給を賄う。
- ・場所を増やす。
- ・熊本県以外にも匿名で預けられるような施設をつくる。お母さんの為に治療できる病院を紹介する。病院が負担ではなく国が負担する。赤ちゃんポストを知ってもらう。危険にさらされないようにポスト前に部屋をつくる。
- ・預ける前に電話かメールで相談できるようにする。匿名にしてもしなくてもいいようにする。常に赤ちゃんポストのところに人がいるといい。
- ・マイナンバーをつくる。
- ・赤ちゃんが安全な場所にいることが分かれば幸せな人生が送れる。
- ・赤ちゃんポストの拡大。

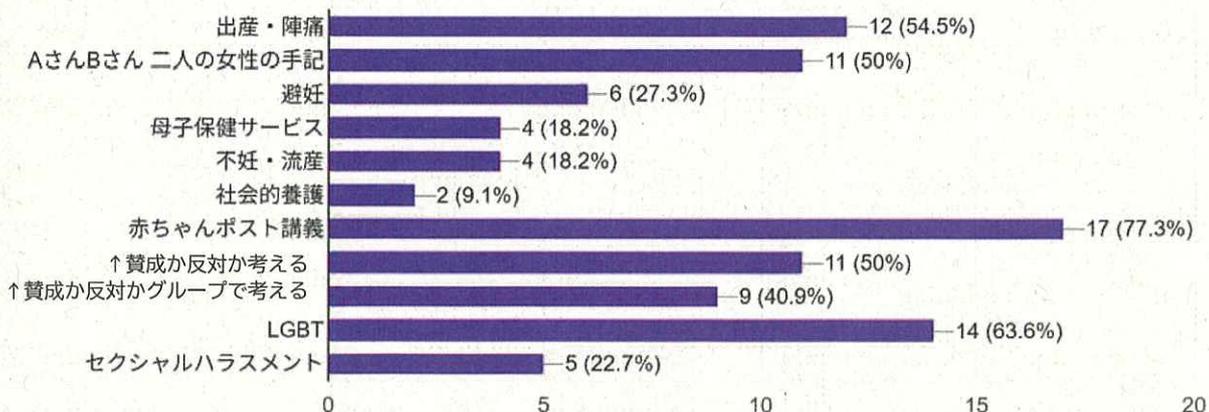
●反対派

- ・匿名で預けられる→無責任な人も増えそう。
- ・ベビーシッターみたいなのを赤ちゃん1人に1人つける。
- ・条件をつけたりお金を請求する。
- ・住所や名前をおさえておいて預けるのが良い、望まない妊娠をした人を受け入れるところがあるといい、補助金を出す。
- ・母親を守る、政府が金を出して環境を整える、生活保護みたいな感じ。

事後アンケート

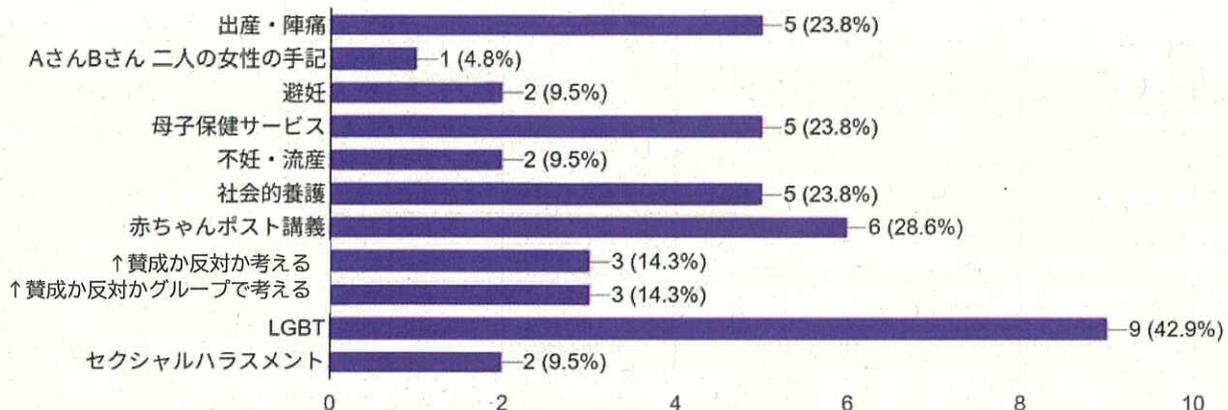
保健の先生とO先生の授業で印象に残っているのは何ですか（いくつ選んでもOK）

22件の回答



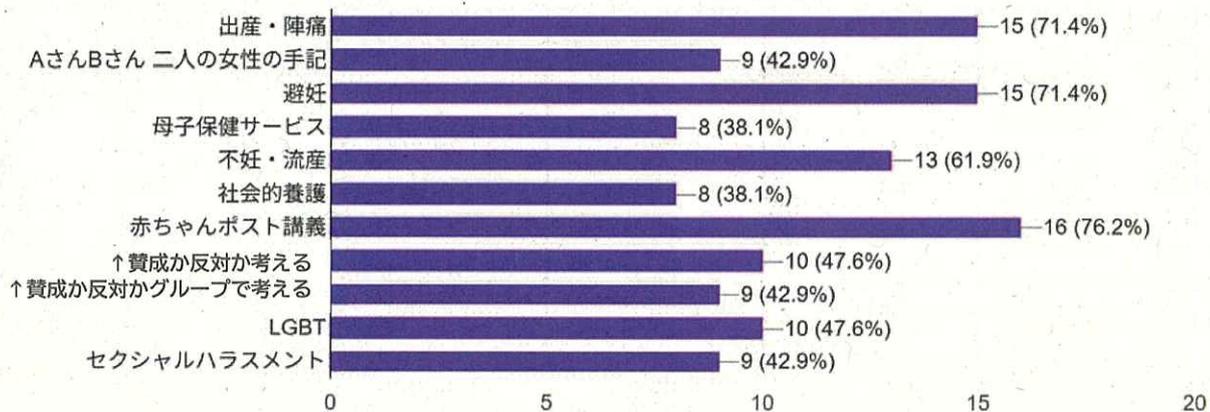
もっと学びたかったものは何ですか (いくつ選んでもOK)

21件の回答



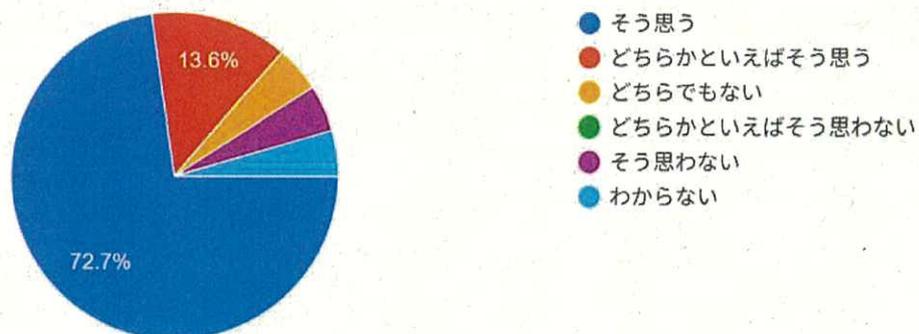
授業でやってよかったと思うのはどれですか (いくつ選んでもOK)

21件の回答

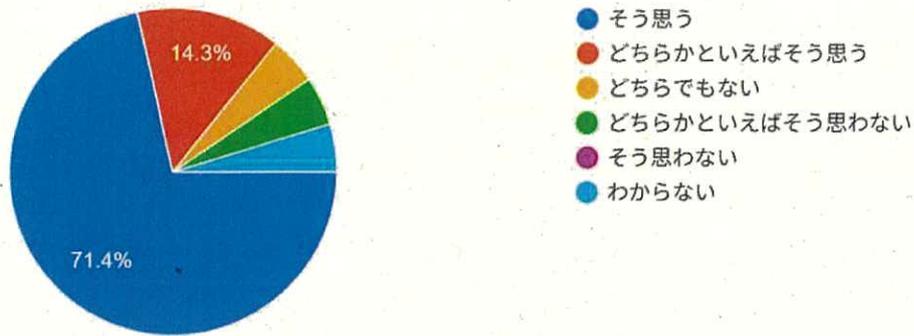


赤ちゃんポストについて、ほかのクラス・学年でも学んだほうがいいと思いますか

22件の回答



自分は、学んだことすべてを使って、赤ちゃんポストの賛成案・改善案を考えられたと思いますか  
21件の回答



生徒感想 ※一部抜粋 原文表記

- ・中学校の時では、性教育のことを学んで来なかったのでこうして高校で学べるのが自分の身にとっていい事に繋がると考えた。
- ・今まで全校集会などで性教育やってもなんとなくでしか分かってなかったけどこれまでの授業を通して出産の大変さ、避妊の正しい方法、命の大切さ、赤ちゃんポストについてなど色々詳しく知れてよかったです。自分の体を大切に後悔しない人生を歩みたいと思いました。もし、自分に子どもができたなら教えたいと思ったし、妹も自分ぐらいの年になったら教えてあげたいと思いました。
- ・全く知識がなかった所があったので今知れて良かったなと思いました。例えば不妊、流産など。
- ・自分でちゃんと性の内容を考えることがなかったので将来自分があまり悩むことも減ったと思います。一人で抱え込む必要もないなと思いました。
- ・なんだかんだ特別な授業を受けたので、この知識を活かすところもあれば活かさないようにするところも考えて生きていきたい。
- ・これまでの事を学んで、学ぶ前より明らかに考え方や感じ方が変わり、知識を得た上で色々考えることが出来ました。学んだ知識を活かして、これからもこれらの問題について考え続けたいと思いました。
- ・知らないこととか知れ、使えることたくさん知れてよかったし、周りに何かあったら、教えてあげたり、助けてあげたりしたいなって思いました あとは、自分でも、気をつけたりとかしたいなって思いました。
- ・今回妊娠とか出産、避妊などについて沢山学んで、前まではまだ自分には関係ない事と思ってたけど、今の自分の年齢で妊娠しちゃったとかあるので他人事ではないなと感じました。私もいつどこで妊娠してしまうか分からないので、自分を守る為に断る勇気を持ち冷静な判断をできるようにしたいです。
- ・この授業するまでは赤ちゃんポストの存在とか知らなかったから学べてよかったと思うし今後のためになることもいっぱい学べてよかったです。
- ・学べた事は色々あったが本当に学ぶ必要があったか？と言われると分からない。正直自分にはほぼ無縁の物だと思っているので少しの不愉快な思いをして学ぶ物ではなかったなと思った。しかしこれで学んだ事を一つでも活かそうとは思った。
- ・性の授業を通して「相手のことを先に考える」「相手を傷つけない」ということがいちばん大切だと思った。これから生きていく上での大切なことだったから忘れずに生活する。
- ・赤ちゃんポストについて勉強して困った事があった時に使えたり、LGBT の事をもっと広げて理解を広げていったほうが良いと思う授業でした
- ・必ず誰かと関わりながら生きていく中で、避妊や妊娠・出産について正しく知っておくことはとても大切

だと感じました。宮尾先生の数回の保健の授業を通して、私は性に対する認識が大きく変わったと思います。出産の痛みや、それを乗り越えた先の幸せについて、身近な先生ご本人の体験を聞いたことで、妊娠や出産の現実をより深く考えるきっかけになりました。また、妊娠・出産をしても必ずしも全ての人が幸せになれるわけではないという複雑さについても、一度立ち止まって考えることができました。望まない妊娠や、赤ちゃんだけでなく妊婦本人が命を落としてしまうケースのニュースを耳にするたびに、少しでもそうした悲しい思いをする人が減ってほしいと感じています。今回の授業を受けて、そのためにも正しい知識を持つことや、性について学ぶ機会がもっと多くのクラスに広がるべきだと思いました。

・少しは知っているつもりだったけど、学んでみたら知らないことがたっぷりで、いい勉強になりました！それと、自分とは違う意見を持った人と話し合う機会があったお陰で見識が広まりました！周りの人が困った時などにも使える知識だと思ったので、これからもこの授業で学んだことを覚えておいて使えるようにしたいです！

・正直あまり乗り気ではないしやりたくなかったのですが、受けれてよかったとは思っています。

・性はこれから一生自分に関わってくるものであることを知りどの授業でも大切なことを学ぶことができました。

・妊娠するしないや誰を好きになるかも正しい答えは無いんだと学びました。赤ちゃんポストという言葉が初めて聞きました。事情があって育てられない人の心の支えだなどおもいました。

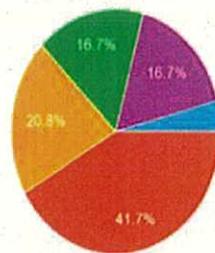
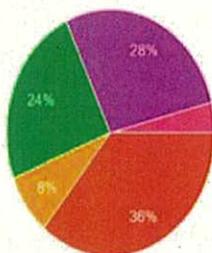
・知らなかったことたくさんあったので知れてよかったです。知らないだけで相手を傷つけることもあるので気をつけたいと思いました。

生徒アンケート事前・事後比較 ※一部抜粋

事前

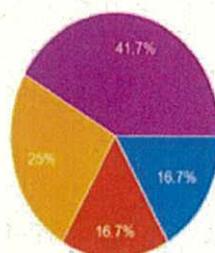
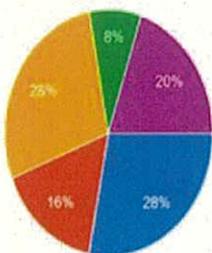
事後

子供をもつことについて



- 今すぐほしい
- 将来的にほしい
- あんまりほしくない
- ほしくない
- まだ決められない
- ほしいときに産めるか不安
- 自分の考え

今、もし妊娠したら (パートナーが妊娠したら)

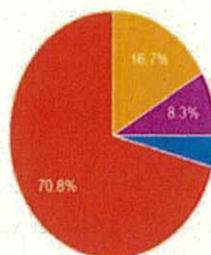
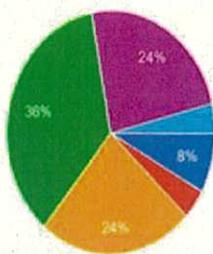


- 産む (産んでほしい)
- 多分産む (多分産んでほしい)
- わからない
- 多分産みたくない (産んでほしくない)
- 産みたくない (産んでほしくない)

事前

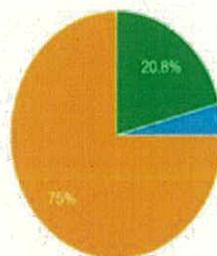
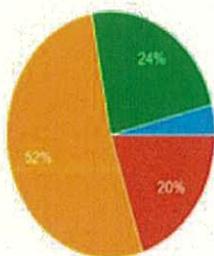
事後

もし今、妊娠したとして（パートナーが妊娠して）、助けてくれる制度が思いつくか



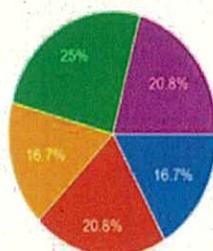
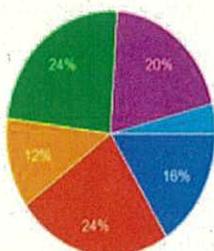
- 人に説明できるくらい知っている
- だいたい知っている
- 少し知っている
- あまりわからない
- まったく知らない
- 知りたくない

人工妊娠中絶手術はいつまでできるか



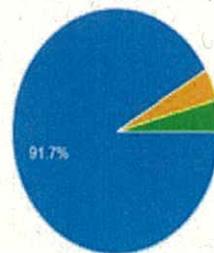
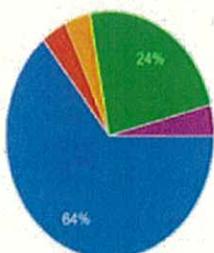
- 妊娠中いつでもできる
- 妊娠30週くらいまでできる
- 妊娠22週くらいまでできる
- 妊娠10週くらいまでできる
- できない
- わからない

コンドームの避妊失敗率はどれが近いか



- 3人に1人妊娠する
- 10人に1人妊娠する
- 50人に1人妊娠する
- 100人に1人妊娠する
- 1000人に3人妊娠する

低用量ピルの効果の期間はどれか

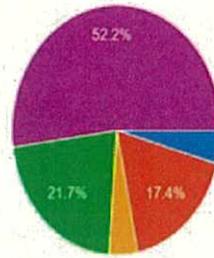
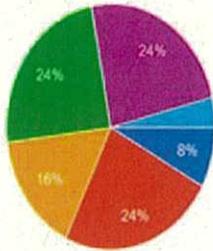


- 飲んでいる期間だけ効く
- 飲まなくなっても数か月効果がある
- 飲むとずっと妊娠できなくなる
- 低用量ピルがわからない

事前

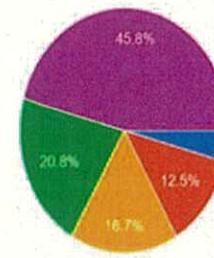
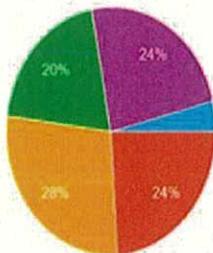
事後

低用量ピルの避妊失敗率はどれが近いか



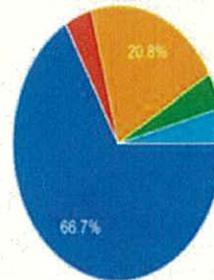
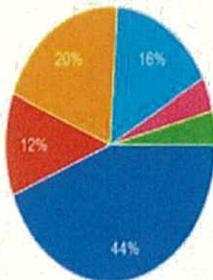
- 3人に1人妊娠する
- 10人に1人妊娠する
- 50人に1人妊娠する
- 100人に1人妊娠する
- 1000人に3人妊娠する

緊急避妊ピルの避妊失敗率はどれが近いか



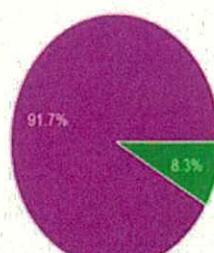
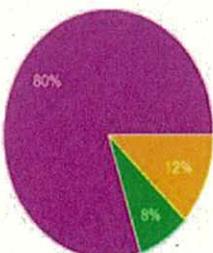
- 3人に1人妊娠する
- 10人に1人妊娠する
- 50人に1人妊娠する
- 100人に1人妊娠する
- 1000人に3人妊娠する

緊急避妊ピルの効果の期間はどれだと思われるか



- 飲む前の直前の性交渉の分だけ効く
- 飲む1週間前の性交渉の分まで効く
- 飲んだ後の性交渉にも数日効く
- 飲んだ後1週間ほどの性交渉にも効く
- 飲むとずっと妊娠できなくなる
- 緊急避妊ピルがわからない

中絶手術をしてもらえば、男性はコンドームをつけなくていいと思う



- そう思う
- どちらかといえばそう思う
- どちらともいえない
- どちらかといえばそう思わない
- そう思わない

#### IV 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会

##### 令和7年度埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会設置要綱

###### (設置)

第1条 学校における性に関する指導の充実を図るため、埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

###### (事業)

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事業を所掌する。

- (1) 児童生徒の発達段階や地域の実態に応じた性に関する指導のための指導計画の研究
- (2) 各学校における効果的な指導法や指導教材に関する研究
- (3) 性に関する指導の授業研究会の実施とその効果の検証に関する研究

###### (組織)

第3条 委員会は、別表に掲げる委員をもって構成する。

2 委員会に委員長を置き、学識経験者をもって充てる。

3 委員会に副委員長を置き、埼玉県教育局県立学校部保健体育課長及び県立学校長又は市町村立学校長をもって充てる。

###### (運営)

第4条 委員長は、委員会を総括する。

2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

###### (任期)

第5条 委員の任期は、令和8年2月27日までとする。

###### (会議)

第6条 委員会は、委員長が招集し、議長を務めるものとする。

2 委員長が、必要と認めるときは、別表に掲げる者以外の県及び市町村等、関係機関の職員の出席を要請することができる。

###### (事務局)

第7条 委員会は、事務を処理するために、事務局を埼玉県教育局県立学校部保健体育課内に置く。

###### (その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し、必要な事項は委員長が別に定めるものとする。

###### 附 則

この要綱は、令和7年4月25日から施行する。

###### 別 表（第3条関係） 委員

学識経験者
市町村教育委員会職員
公立学校校長
教諭
養護教諭
保健体育課長

## 学校健康教育推進事業(「性に関する指導」課題解決支援事業)

### 【児童生徒を取り巻く状況】

- ・ 性情報の氾濫など社会環境の急激な変化により、子供たちの心身の健康に大きな影響を与えている。
- ・ 若年層のエイズ及び性感染症や人工妊娠中絶が問題となっている。

### 【課題】

- ・ 子供たちが性に関して適切に理解し、行動できるようにすること。
- ・ 心身の発育・発達と健康や性感染症の予防などに関する知識を確実に身に付けること。
- ・ 自他を尊重する心を育むこと。

## 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会の開催

○ 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会を設置し、発達の段階に応じた効果的な性に関する指導方法の研究を行う。

・ 県における課題の把握

- ①性感染症
- ②人工妊娠中絶
- ③性情報への対処
- ④家族計画の意義 など

・ 課題解決方法の協議、検討

- ・ 事業成果の検証
- ・ 事業成果の普及・啓発(実施報告書の作成)

【構成員】

有識者、学校関係者 等

報告

指導  
助言

報告

### 「性に関する指導」指導者研修会の開催

○ 性に関する健康課題を受け、指導方法の普及推進を図るため、学校における指導者を対象に研修会を開催する。

- ・ 行政説明
- ・ 実践発表
- ・ 講演会

※実践発表は、前年度の授業研究会における授業者による。

### 「性に関する指導」授業研究会の開催

○ 発達の段階に応じた効果的な性に関する指導方法について授業研究会を実施する。

- ・ 校種別に授業研究会を開催
- ・ 研究協議 等

学習指導要領に基づく内容で、外部講師を活用した効果的な指導について单元の中で研究を進める。

子供たちの豊かな心と健やかな体を育成する

令和7年度 埼玉県「性に関する指導」課題解決検討委員会名簿

		氏 名	所 属	職 名
1	委員長	戸部 秀之	埼玉大学教育学部	学 部 長
2	副委員長	芦川 恵美	飯能市立奥武蔵中学校	校 長
3	副委員長	荻原 篤大	教育局県立学校部保健体育課	課 長
4	委員	梨本 雄太	県立進修館高等学校	教 諭
5	委員	宮尾 仁美	県立三郷高等学校	養 護 教 諭
6	委員	吉田 聡	県立大宮工業高等学校	養 護 教 諭
7	委員	渡邊 登志子	県立越谷西特別支援学校	養 護 教 諭
8	委員	久保 あかね	加須市立加須東中学校	教 諭
9	委員	今成 友美	熊谷市立熊谷東中学校	教 諭
10	委員	寺井 由佳子	狭山市立狭山台中学校	養 護 教 諭
11	委員	塩澤 美保子	本庄市教育委員会	指 導 主 事 (養護教諭籍)
12	委員	田中 絢子	入間市立高倉小学校	教 諭
13	委員	江口 竜太	川口市立前川小学校	主 幹 教 諭

1	事務局	薬師寺 将二	県教育局県立学校部保健体育課	主任指導主事
2	事務局	西川 俊成	県教育局県立学校部保健体育課	主 幹
3	事務局	龍野 雅美	県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事
4	事務局	高沢 聖子	県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事
5	事務局	佐野 秀行	県教育局県立学校部保健体育課	指 導 主 事

令和7年度埼玉県「性に関する指導」課題解決支援事業  
実施報告書

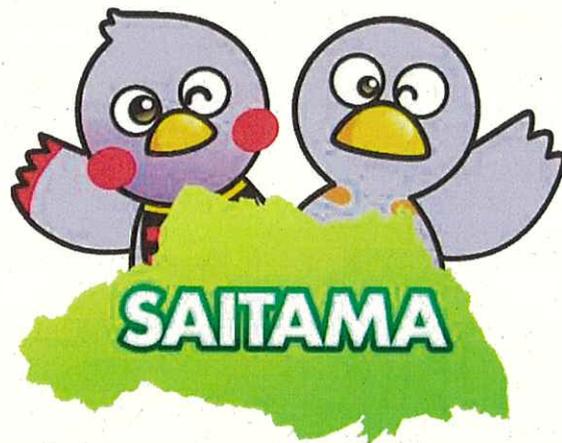
埼玉県教育局県立学校部保健体育課

課長	荻原 篤大
教育指導幹事	佐藤 泰弘
主任指導主事	薬師寺将二
主幹	西川 俊成
指導主事	龍野 雅美
指導主事	高沢 聖子
指導主事	佐野 秀行
主任	高槻 伊織
主事	大水 達江

令和8年3月発行

さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話 048-830-6963



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」